

2006 年春季年会

年会プログラム

於 和歌山大学

2006 年 3 月 27 日 (月) ~ 3 月 29 日 (水)

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 2006 年春季年会プログラム

期 日 2006 年 3 月 27 日 (月) ~ 3 月 29 日 (水)

場 所 和歌山大学 (和歌山県和歌山市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2006 年 3 月 26 日 (日) ~ 3 月 29 日 (水) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3月26日 (日)							記者会見					
							公開講演会					
3月27日 (月)	A	ジュニアセッション			昼休み (理事会)	ジュニアセッション			天文教育 フォーラム (A会場)	すぎく 特別講演 (A会場)		
	B	X. 銀河形成				X. 銀河形成						
	C	P. 星・惑星				P. 星・惑星						
	D	Y. 教育・他 / M. 太陽				M. 太陽						
	E	K. 超新星爆発				ポスター	K. 超新星爆発 / S. 銀河核					
	F	L. 太陽系					W. 飛翔観					
	G	T. 銀河団				T. 銀河団 / J. 高密度星						
	H	V. 地上観				V. 地上観						
3月28日 (火)	A	R. 銀河	ポスター	昼休み (評議員会)	R. 銀河	総会 受付終了 総会 (A会場)	受賞記念講演 (A会場)	懇親会				
	B	Q. 星間			Q. 星間							
	C	P. 星・惑星			P. 星・惑星							
	D	M. 太陽			U. 宇宙論							
	E	S. 銀河核			N. 恒星							
	F	W. 飛翔観			W. 飛翔観							
	G	J. 高密度星			J. 高密度星							
	H	V. 地上観			V. 地上観							
3月29日 (水)	A	R. 銀河	ポスター	昼休み	ALMA 特別 セッション (A会場)	スペース天文学 特別セッション (A会場)						
	B	Q. 星間										
	C	P. 星・惑星										
	D	U. 宇宙論										
	E	N. 恒星										
	F	W. 飛翔観										
	G	J. 高密度星										
	H	V. 地上観										
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

A 会場 : G 棟 1F (G-101)
 B 会場 : G 棟 1F (G-102)
 C 会場 : G 棟 1F (G-103)
 D 会場 : G 棟 2F (G-202)
 E 会場 : G 棟 2F (G-203)
 F 会場 : G 棟 3F (G-302)
 G 会場 : L 棟 1F (L-101)
 H 会場 : L 棟 2F (L-201)
 受付 : L 棟 1F (L-102)
 会議室 1,2,3 : L 棟 1F (L-105,104,103)

ポスター会場 1 : G 棟 2F (G-201)
 ポスター会場 2 : G 棟 2F (G-205)
 ポスター会場 3 : G 棟 2F (G-206)
 ポスター会場 4 : G 棟 2F (G-207)
 ポスター会場 5 : G 棟 3F (G-301)
 ポスター会場 6 : G 棟 3F (G-304)
 ポスター会場 7 : G 棟 3F (G-305)
 ポスター会場 8 : G 棟 3F (G-306)
 懇親会会場 : 大学会館 1F

◎講演数

講演数：合計 614

(口頭講演 (a)：356、ポスター講演 (b)：198、ポスター講演 (c)：60)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をして下さい。)

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (L 棟 1F)

○参加登録受付時間：8：30～16：00 (初日は、9：00～)

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※領収書が必要な方は、参加費用支払い時にお申し出下さい。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は8会場で行います。口頭講演(添字a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字b)、(添字c)は、3日間掲示できます。ポスターは縦180×横90cmまで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3月27日の9：30から3月29日の13：00まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演にはOHPまたは液晶プロジェクターをご使用下さい。液晶プロジェクターの使用に際しては、セッション開始迄に接続を確認し、念のためOHPでの発表もできるようにしておいてください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、液晶プロジェクターを使用される方は、事前にPCをケーブルにつないでおいてください。

◎会期中の行事

- | | | |
|---------------------------------|----------------------|------------|
| 1. 記者会見 | : 26日(日) 13:30～14:30 | 和歌山県勤労福祉会館 |
| 年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。 | | |
| 2. 公開講演会 | : 26日(日) 14:00～17:00 | 和歌山県勤労福祉会館 |
| 3. 理事会 | : 27日(月) 12:30～13:30 | 会議室1 |
| 4. 天文教育フォーラム | : 27日(月) 17:00～18:00 | A会場 |
| 5. すざく特別講演 | : 27日(月) 18:00～19:00 | A会場 |
| 6. 評議員会 | : 28日(火) 12:00～13:00 | 会議室1 |
| 7. 総会 | : 28日(火) 15:00～16:30 | A会場 |

(15:00～15:20 総会出席者確認、15:20 総会開始)

各賞の受賞

○ 2005年度事業報告

○ 2005年度決算報告

○ 監査報告

- | | | |
|------------------------|----------------------|------|
| 8. 受賞記念講演 | : 28日(火) 16:30～18:00 | A会場 |
| 林忠四郎賞・研究奨励賞 | | |
| 9. 懇親会 | : 28日(火) 18:30～ | 大学会館 |
| 10. ALMA 特別セッション | : 29日(水) 14:00～15:00 | A会場 |
| 11. スペース天文学
特別セッション | : 29日(水) 15:00～17:00 | A会場 |

◎日本天文学会公開講演会

後 援：和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、和歌山大学、
和歌山県勤労福祉会館、みさと天文台、かわべ天文公園、
朝日新聞和歌山総局、読売新聞大阪本社、産経新聞和歌山支局、
毎日新聞和歌山支局、ニュース和歌山株式会社、和歌山新報社、
NHK 和歌山放送局、株式会社テレビ和歌山、株式会社和歌山放送、
NPO 法人わかやまインターネット市民塾

テ ー マ：「すばる、ようこうに続く日本の計画が解き明かす宇宙の謎」
日 時：2006年3月26日(日)14:00～17:00(開場13:30)
場 所：和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ
対 象：中学生以上・一般向け
趣 旨：すばるに続く望遠鏡計画に関わりながら、遠方宇宙の研究に取り組んでいる研究者、Solar-B 計画に関わりながら、太陽を始めとして多方面の研究に取り組んでいる研究者に将来計画とその夢を紹介して頂きます。

講 演 I：「次世代の大望遠鏡と宇宙の謎」
講 演 者：山田 亨(国立天文台)

講 演 II：「宇宙飛翔体で挑む宇宙の謎」
講 演 者：小杉健郎(JAXA 宇宙科学研究本部)

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

◎すざく特別講演

主 催：高エネルギー宇宙物理連絡会

テ ー マ：「X線天文衛星『すざく』の初期成果」
日 時：2006年3月27日(月)18:00～19:00
場 所：A会場
概 要：2005年7月に宇宙航空研究開発機構が打ち上げた、科学衛星「すざく」は、日本が世界をリードしてきたX線天文学を担う日本で5機目のX線天文衛星である。「すざく」は、およそ0.3keVから200keV以上までの広帯域にわたり高い感度を持つ。また、軟X線領域での広がった天体に対するエネルギー分解能は他の衛星を凌駕する。これらの性能は、現在も観測を続けている大型X線天文衛星、「チャンドラ」と「XMMニュートン」とで三者相補的なものとなり、国際協力も進められている。「すざく」の打ち上げから、およそ8ヶ月あまり過ぎた年会時には、初期データも蓄積され、数々のトピックスも聞くことができると思われる。

そこで、「すざく」衛星のサイエンスマネージャー、X線望遠鏡の責任者として、衛星開発、Science Working Groupによる観測計画策定のとりまとめを担当している國枝秀世氏に、「すざく」衛星の紹介と、今後の観測について話をさせていただく。また、「すざく」衛星の硬X線望遠鏡のPIとして、設計、製作、観測計画を牽引し、また「すざく」の観測運営に対して中心的に活躍している牧島一夫氏に「すざく」による最新の観測結果についてまとめていただく。

講 演 者：X線天文衛星「すざく」の現状：國枝秀世(名古屋大学大学院理学研究科)
「すざく」衛星8ヶ月の成果：牧島一夫(東京大学大学院理学系研究科/理化学研究所)

世 話 人：北本俊二(立教大学; kitamoto@rikkyo.ne.jp TEL 03-3985-2419 FAX 03-3985-2418)
(連絡先) 幸村孝由(工学院大学; tkohmura@map.kogakuin.ac.jp

TEL 0426-28-4113 FAX 0426-28-4131)

◎天文教育フォーラム

共 催：天文教育普及研究会

テ ー マ：「大学と地域連携による天文教育普及」

日 時：2006年3月27日（月）17：00～18：00

場 所：A会場

概 要：近年、国立大学の独立法人化が行われたことや、18歳人口の減少により、各大学がそれぞれ大学の特色を出していかなければ、大学として立ちゆかなくなってしまう時代になってきています。これは地方の大学では特に大きな問題となっています。

他方、近年の若者の理科離れの問題の解決は、科学に興味を持つ若者の裾野を広げることが最も効果のあることだと思われまます。また、納税者である国民に、研究成果の報告の義務や大型機器への税金の利用に関する説明責任など、大学や研究機関に対する社会的要請も強まってきました。

このような状況の中、大学と地域との連携により、地域の若者への科学教育の普及、研究成果の一般向け講演会や大型プロジェクトの説明会など、様々な取組が、それぞれの大学で行われるようになりました。大学も地域に開かれた大学に変わろうとしているのです。

今回のフォーラムでは、「天文・宇宙」といったキーワードで地域と連携し、「天文の教育や普及」に関して活発に活動が続けている3つの事例を紹介していただきます。地域との連携がなぜ、今、重要なのか、実際の活動中でどのような難しさがあるのか、どのような問題があり、それをどのように解決してきたのかなど、活動に関する諸問題を出し合い、議論するとともに、実際にこのような活動を行っている、あるいは今後このような活動を行おうと考えている大学・研究機関の職員や大学院生への参考としていただくことを目的としています。

講 演 者：和歌山大の地域連携プロジェクト「宇宙教育研究ネットワーク」
矢動丸泰（みさと天文台／和歌山大）

山形大学と「NPO 法人小さな天文学者の会」の連携事業
柴田晋平（山形大学）

「NPO サイエンスステーション」の活動
吉井 讓（東京大学）

司 会 者：沢 武文（愛知教育大学）

実行委員：森 淳（西はりま天文台公園）、松下恭子（東京理科大学）、
上玉利剛（かわべ天文公園）、沢 武文（愛知教育大学）

連絡先：沢 武文 E-mail：tsawa@aeu.ac.jp TEL & FAX：0566-26-2624

◎ ALMA 特別セッション

主 催： 国立天文台 ALMA 推進室、
国立天文台 ALMA 推進小委員会
特定領域研究「サブミリ波帯からテラヘルツ帯に至る
宇宙観測の開拓」（代表 福井康雄）

テ ー マ： 「建設進む ALMA：現状と展望」
日 時： 2006 年 3 月 29 日（水）14：00～15：00
場 所： A 会場
概 要： ALMA (Atacama Large Millimeter/submillimeter Array; アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計) は、東アジア・北米・欧州の三極により推進される次世代の超大型地上観測装置で、2012 年の本運用開始を目指し、現在、着々と開発・建設が進んでいます。

本特別セッションでは、まず ALMA の開発・建設の最新状況をご報告し、次いで ALMA 運用の枠組みがどのようなものか（プロポーザル作成からデータを手にするまでのプロセス、それを支援するための ALMA Regional Center の機能、などの検討状況）をご説明致します。また、ALMA-J への正式参加が決まった ASIAA/台湾から研究者を招いてメッセージをいただくとともに、我が国の、そして、東アジアの天文学コミュニティとして、どのように ALMA によるサイエンスを展開していくか、議論したいと考えております。多くの皆様の参加をお待ちしております。

プログラム： 1. ALMA 現状報告 長谷川哲夫（国立天文台）
2. ALMA 運用計画 川辺良平（国立天文台）
3. ALMA への参画 ASIAA/台湾から代表者
4. ALMA によるサイエンス 山本 智（東京大学）
5. 質疑応答

世 話 人： 河野孝太郎（東京大学；kkohno@ioa.s.u-tokyo.ac.jp 0422-34-5039 FAX 0422-34-5041）
（連絡先） 立松健一（国立天文台；k.tatematsu@nao.ac.jp 0422-34-3815 FAX 0422-34-3817）
川辺良平（国立天文台；kawabe@nro.nao.ac.jp）

◎スペース天文学特別セッション

テ ー マ： スペース天文学の展望と JAXA 長期ビジョン
日 時： 2006 年 3 月 29 日（水）15：00～17：00
場 所： A 会場
概 要： 21 世紀の天文学では大気圏外からの観測が決定的な役割を果たす。光天連が発表した『2010 年代の光赤外天文学』では、宇宙空間に置く大型天文装置として、SPICA, JTPF, JASMINE が重点計画として提案されている。また、電波天文コミュニティは「はるか」の成果を受け継ぐスペース VLBI 計画を持っている。これらの実現には我が国の天文学界の総力をあげた取り組みが求められている。

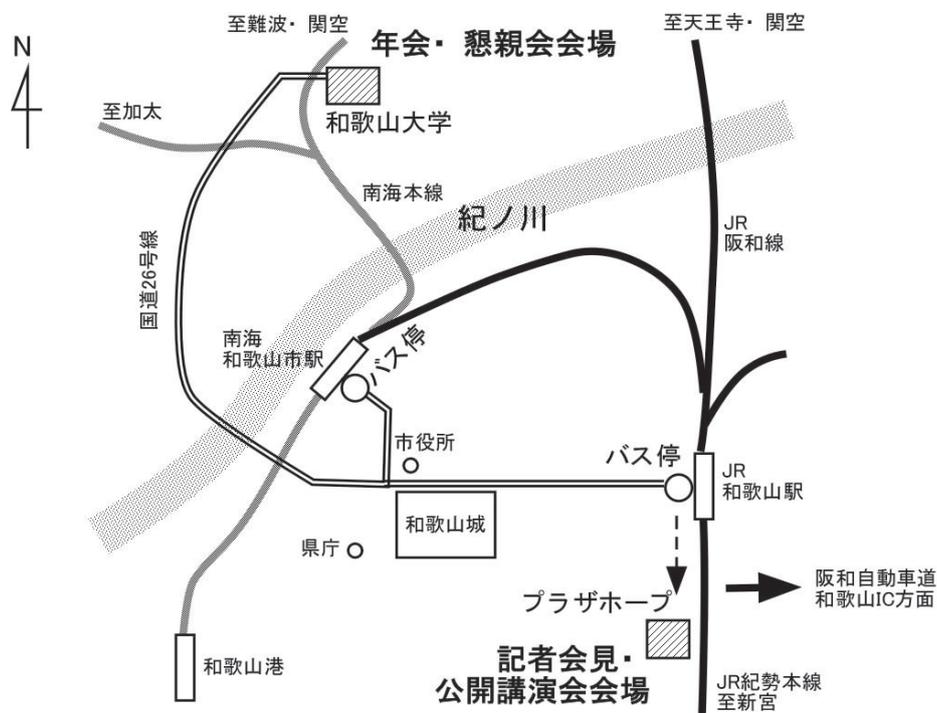
他方、統合宇宙機関 JAXA の側では 2008 年度からの第 2 期中期計画期間開始を見据え、『JAXA 長期ビジョン－JAXA2025－』を「宇宙航空分野について明確な将来像を示し、社会に問う」ものとして発表している。

このような状況にあって、天文学会に集う研究者と宇宙機関の間で相互理解を深め、我が国のスペース天文学と宇宙開発をいっそう発展させるための契機となる議論を行いたい。

プログラム： 講演 1. 2010 年代の光赤外天文学将来計画（家 正則）
講演 2. 電波分野のスペース天文学計画（井上 允）
講演 3. JAXA 長期ビジョンの背景（樋口清司）
講演 4. 日本の宇宙開発・宇宙科学の体制について（海部宣男）
討論

世 話 人： 小杉健郎（JAXA 宇宙科学研究本部；kosugi@solar.isas.jaxa.jp 042-759-8175）
（連絡先） 井上 允（国立天文台；inoue@nro.nao.ac.jp 0422-34-3940）

春季年会会場（和歌山大学）のご案内



交通案内

和歌山大学(栄谷キャンパス) <http://www.wakayama-u.ac.jp/>

- JR和歌山駅より
駅西口、バス4番乗り場、和歌山大学行き、和歌山バスにて約35分(終点まで)
一部、南海和歌山市駅経由
- 南海和歌山市駅より
駅前、バス11番乗り場、和歌山大学行き、和歌山バスにて約20分(終点まで)
会場までバスをご利用下さい。バス料金は上記いずれのルートでも片道330円。

和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ <http://www.plaza-hope.com/>

- JR和歌山駅より
徒歩15分、あるいはバス5分(4つ目バス停「北出島」下車)

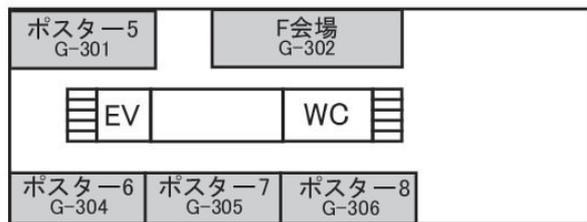
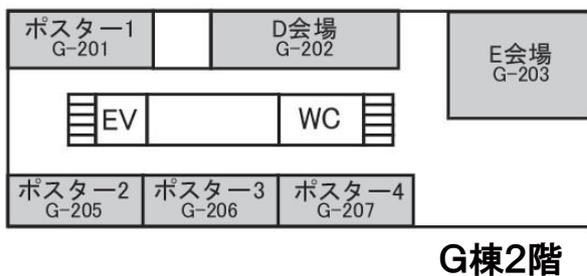
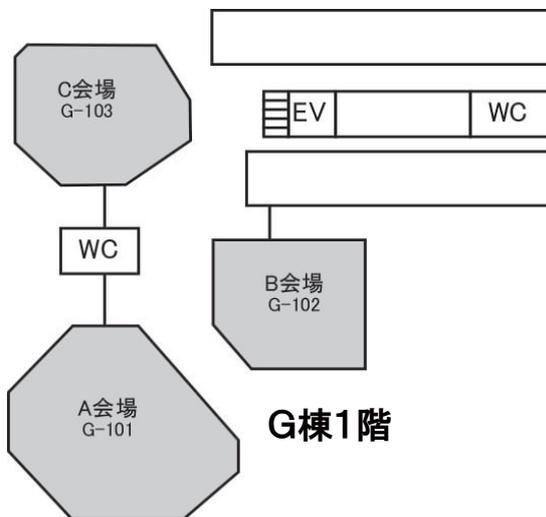
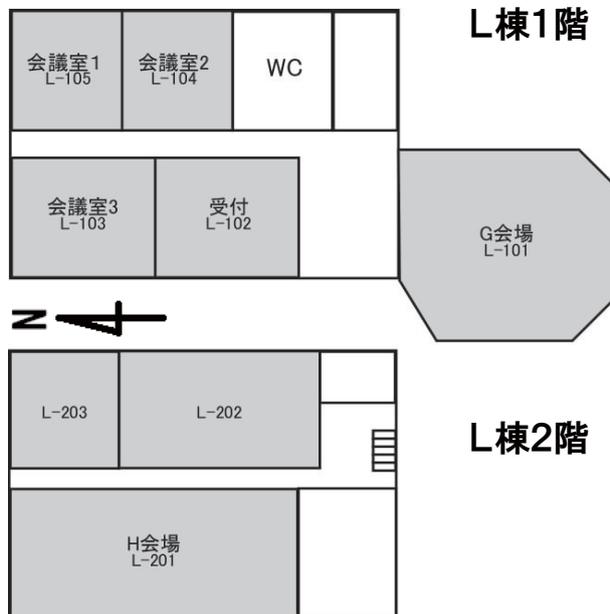
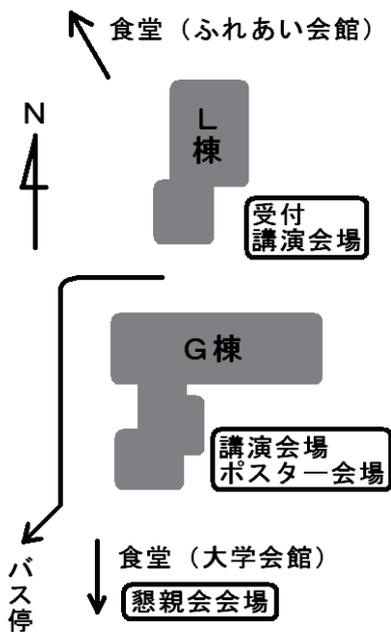
JR和歌山駅、南海和歌山市駅までの代表的な交通

- 関西国際空港より
JR: 関西空港—(関西空港線、13分)→日根野—(阪和線、快速で24分)→和歌山
南海: 関西空港—(空港線、8分)→泉佐野—(南海本線、特急で27分)→和歌山市
- 新大阪より
JR: 新大阪発で紀勢本線に入る特急で和歌山下車なら、途中乗り換えなし(1時間)
大阪市営地下鉄御堂筋線: 新大阪—(14分)→難波、南海本線: 難波—(1時間)→和歌山市

会場、交通、懇親会などの案内は、和歌山世話人のページにも掲載しています。

<http://www.center.wakayama-u.ac.jp/~atomita/asj2006a/>

年会会場案内図 (和歌山大学)



昼食

- 生協食堂(大学会館内)300席
11時~14時開店
(ここが懇親会の主会場になります)
- 生協食堂(ふれあい会館内)130席
11時~14時開店
- フルール(一般業者;ふれあい会館内)
60席、10時~13時半開店

ポスター会場

G棟2、3階の8つの部屋を使用
(ポスター1からポスター8まで)

□頭セッション 3月27日(月)

開始時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
	【ジュニア】	【銀河形成】	【星・惑星】	【教育/太陽】	【超新星爆発】	【太陽系】	【銀河団】	【地上観】
10:00		X01a	P01a	Y01b - Y03b	K01a	L01a	T01a	V01a
10:12		X02a	P02a	Y04a	K02a	L02a	T02a	V04a
10:24		X03a	P03a	Y07a	K03a	L03a	T03a	V06a
10:36		X04a	P04a	Y10a	K04a	L04a	T04a	V07a
10:48		X05a	P05a	Y11b - Y13b	K05b - K07b	L05a	T05a	V09a
11:00		X06a	P06a	M01a	K08a	L06a	T06a	V10a
11:12		X07a	P07a	M02a	K09a	L07a	T07a	V11a
11:24		X08a	P08a	M03a	K10a	L08a	T08a	V12a
11:36		X09a	P09a	M04a	K11a	L09b - L11b	T09a	V13a
11:48		X10a	P10a	M05a	K12a	L12b - L14b	T10a	V14a
12:00		X11a	P11b - P13b	M06a	K13a	L15b	T11a	V15b - ,V17b
12:12		X12a	P14b - P16b	M07a	K14a	-	T12a	V18b - V20b
12:24		X13b - X15b	-	M08b,M09b	K15b	-	T13b,T14b	V21b - V23b
12:30	昼休み							
13:30	ポスター							
	【ジュニア】	【銀河形成】	【星・惑星】	【太陽】	【超新星爆発/ 銀河核】	【飛翔観】	【銀河団/ 高密度星】	【地上観】
14:30		X16a	P17a	M12a	K17a	W01a	T17a	V25a
14:42		X18a	P18a	M13a	K18a	W02a	T18a	V26a
14:54		X19a	P19a	M14a	K19b - K21b	W03b,W04b, W06b	T19a	V27a
15:06		X20a	P20a	M15a	K22b - K24b	W07a	T20a	V28a
15:18		X21a	P21a	M16a	K28a	W08b-W10b	T21b,T22b	V29a
15:30		X22a	P22a	M17a	K29a	W11b-W13b	J01a	V30a
15:42		X23a	P23a	M18a	K30a	W15a	J02a	V31a
15:54		X24a	P24a	M19a	K31a	W16a	J03a	V32a
16:06		X25a	P25a	M20a	K32a	W17a	J04b,J05b, J07b	V33a
16:18		X26a	P26b - P28b	M21a	S01b - S03b	W18a	J08b,J10b, J11b	V35b
16:30		X27a	P29b - P31b	M22a	S04b - S06b	W19a	J12a	-
16:42		X28a	P32b,P33b	M23a	S07b - S09b	W20a	J14a	-
16:54		X29b - X31b	-	-	S10b	-	J15b	-
17:00	天文教育フォーラム (A会場)							
18:00	すぎく特別講演 (A会場)							

□頭セッション 3月28日(火)

開始時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
	【銀河】	【星間】	【星・惑星】	【太陽】	【銀河核】	【飛翔観】	【高密度星】	【地上観】
09:00	R01a	Q01a	P34a	M24a	S12a	W21a	J16a	V36a
09:12	R02a	Q02a	P35a	M25a	S13a	W22a	J17a	V37b - V39b
09:24	R03a	Q03a	P36a	M26a	S14a	W23b,W25b, W26b	J18a	V40a
09:36	R04b - R06b	Q04a	P37a	M27a	S15a	W31a	J19a	V43a
09:48	R07a	Q05a	P38a	M28a	S16a	W32a	J20a	V44a
10:00	R08a	Q06a	P39a	M29a	S17a	W33a	J21a	V45b - V47b
10:12	R09a	Q07a	P40a	M30a	S18a	W34b-W36b	J22a	V48a
10:24	R11a	Q08b - Q10b	P41b - P43b	M31a	S19a	W37b-W39b	J23a	V50b - V52b
10:36	R12a	Q12a	P44b - P46b	-	S20a	W40b-W42b	J25b - 27b	V53b
10:48	R13b - R15b	Q13b,Q14b	P47b - P49b	-	S21a	W43b-W45b	J28b - J30b	-
11:00	-	-	-	-	S22a	W47b-W49b	-	-
11:12	-	-	-	-	S23a	W50a	-	-
11:00	ポスター							
12:00	昼休み							
開始時刻	【銀河】	【星間】	【星・惑星】	【宇宙論】	【恒星】	【飛翔観】	【高密度星】	【地上観】
13:00	R16a	Q17a	P50a	U01a	N01a	W51a	J31a	V54a
13:12	R17a	Q18a	P51a	U03a	N02a	W52a	J32a	V55a
13:24	R18a	Q19a	P52a	U06a	N03a	W53a	J33a	V56a
13:36	R19a	Q20a	P53a	U07b - U09b	N04a	W54a	J35a	V57a
13:48	R21b - R23b	Q21a	P54a	U10a	N05a	W55b-W57b	J36a	V59a
14:00	R24a	Q22a	P55a	U11a	N06a	W58b-W60b	J38a	V60b - V62b
14:12	R25a	Q23a	P56a	U12a	N07a	W61b,W62b	J39a	V63b - V65b
14:24	R26a	Q24a	P57a	U13a	N08a	W63a	J40a	V66a
14:36	-	Q25b - Q27b	P58a	U14a	N09b - N11b	W64a	J41a	V67b - V69b
14:48	-	Q29b,Q30b	P59a	U15a	N12b,N13b	W65a	J42b,J43b	V70b
15:00	総会 (A会場)							
16:30	受賞記念講演 (A会場)							
18:30	懇親会							

□頭セッション 3月29日(水)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
	【銀河】	【星間】	【星・惑星】	【宇宙論】	【恒星】	【飛翔観】	【高密度星】	【地上観】
09:00	R27a	Q33a	P60a	U16a	N15a	W68a	J44a	V71a
09:12	R28a	Q34a	P61a	U17a	N16a	W69a	J45a	V72a
09:24	R29a	Q35a	P62a	U18a	N17a	W70a	J46a	V73a
09:36	R30a	Q36a	P63a	U19a	N18a	W71a	J47a	V74a
09:48	R31a	Q37a	P64a	U20a	N19a	W72a	J48a	V75a
10:00	R33a	Q38a	P65a	U21b - U23b	N20a	W73a	J49a	V76a
10:12	R34a	Q39a	P66a	U24a	N21a	W74a	J50a	V77a
10:24	R35a	Q40a	P67a	U25a	N22a	W75a	J51a	V78a
10:36	R36a	Q41a	P68a	U26a	N23a	W76a	J52a	V79b - V81b
10:48	R37b,R38b	Q42a	P69a	U27a	N24b - N26b	W77a	J54a	V82a
11:00	-	Q43a	P70a	U28a	N27b - N29b	W78a	J55a	V83a
11:12	-	Q44a	P71a	U29a	N30b - N32b	W79a	-	V84a
11:24	-	-	-	U30a	-	W80a	-	V85b - V87b
11:36	-	-	-	U31b	-	-	-	V88a
11:48	-	-	-	-	-	-	-	V89b,V90b
12:00	ポスター							
13:00	昼休み							
14:00	ALMA 特別セッション (A 会場)							
15:00	スペース天文学特別セッション (A 会場)							

ポスターセッション 3月27日(月) ~ 3月29日(水)

《ポスター会場 1》	【活動銀河核】(11)
【高密度星】(22)	S01b S02b S03b S04b S05b
J04b J05b J06c J07b J08b	S06b S07b S08b S09b S10b
J09c J10b J11b J13c J15b	S11c
J24c J25b J26b J27b J28b	【銀河団】(6)
J29b J30b J34c J37c J42b	T13b T14b T15c T16c T21b
J43b J53c	T22b
【超新星爆発】(14)	【銀河形成】(7)
K05b K06b K07b K15b K16c	X13b X14b X15b X17c X29b
K19b K20b K21b K22b K23b	X30b X31b
K24b K25c K26c K27c	
【太陽】(4)	《ポスター会場 5》
M08b M09b M10c M11c	【ジュニアセッション】
	《ポスター会場 6》
《ポスター会場 2》	【宇宙論】(10)
【太陽系】(8)	U02c U04c U05c U07b U08b
L09b L10b L11b L12b L13b	U09b U21b U22b U23b U31b
L14b L15b L16c	【地上観測機器】(29)
【恒星】(16)	V02c V03c V05c V08c V15b
N09b N10b N11b N12b N13b	V16b V17b V18b V19b V20b
N14c N24b N25b N26b N27b	V21b V22b V23b V24c V34c
N28b N29b N30b N31b N32b	V35b V37b V38b V39b V41c
N33c	V42c V45b V46b V47b V49c
【天文教育・他】(13)	V50b V51b V52b V53b
Y01b Y02b Y03b Y05c Y06c	
Y08c Y09c Y11b Y12b Y13b	
Y14c Y15c Y16c	《ポスター会場 7》
	【地上観測機器】(19)
《ポスター会場 3》	V58c V60b V61b V62b V63b
【星・惑星形成】(23)	V64b V65b V67b V68b V69b
P11b P12b P13b P14b P15b	V70b V79b V80b V81b V85b
P16b P26b P27b P28b P29b	V86b V87b V89b V90b
P30b P31b P32b P33b P41b	【飛翔体観測機器】(13)
P42b P43b P44b P45b P46b	W03b W04b W05c W06b W08b
P47b P48b P49b	W09b W10b W11b W12b W13b
【星間現象】(16)	W14c W23b W24c
Q08b Q09b Q10b Q11c Q13b	
Q14b Q15c Q16c Q25b Q26b	《ポスター会場 8》
Q27b Q28c Q29b Q30b Q31c	【飛翔体観測機器】(32)
Q32c	W25b W26b W27c W28c W29c
	W30c W34b W35b W36b W37b
《ポスター会場 4》	W38b W39b W40b W41b W42b
【銀河】(15)	W43b W44b W45b W46c W47b
R04b R05b R06b R10c R13b	W48b W49b W55b W56b W57b
R14b R15b R20c R21b R22b	W58b W59b W60b W61b W62b
R23b R32c R37b R38b R39c	W66c W67c
	【PDL】
	【最新情報コーナー】

J. 高密度星

13月27日(月) 午後・G会場		3月28日(火) 午前・G会場	
15:30	J01a 「すざく」衛星によるブラックホール連星系 GRO J1655-40 の観測 高橋弘充 (東京大学)	16:18	J11b TT Ari の減光期の測光観測 前原裕之 (東京大学)
15:42	J02a マイクロクエーサー LS I +61° 303 の可視偏光分光観測2 永江 修 (広島大学)	16:30	J12a 白色矮星連星の合体とその後のディスク構造 塩屋俊直 (大阪大学)
15:54	J03a ブラックホールX線連星 V4641 Sgr の可視光変動 I. 静穏時と連星パラメータ 植村 誠 (広島大学)		J13c 矮新星 U Gem の静穏時光度曲線の解析 中村泰久 (福島大学)
16:06	J04b ブラックホールX線連星 V4641 Sgr の可視光変動 II. アウトバーストの特徴 植村 誠 (広島大学)	16:42	J14a 超新星爆発からの重力波 木内建太 (早稲田大学)
16:06	J05b V4641 Sgr の V,R,I-band 測光観測 新井 彰 (大阪教育大学)	16:54	J15b Iバンド光度曲線から見る近傍 Ia 型超新星の諸性質 高梨直紘 (東京大学)
	J06c RXTE 衛星による超光速ジェット天体 V4641 Sgr の X 線観測 山岡和貴 (青山学院大学)		
16:06	J07b ブラックホールのハード状態におけるエネルギースペクトルの系統的解析 宮川雄大 (青山学院大学)	09:00	J16a HETE-2 衛星の観測運用状況 — 2005 年秋から現在まで 玉川 徹 (理化学研究所)
16:18	J08b 「すざく」衛星による Cygnus X-1 の観測 久保田あや (理化学研究所)	09:12	J17a HETE-2 衛星が捉えた GRB051022 のプロンプト放射~残光に見られる吸収 中川友進 (青山学院大学)
	J09c Investigation on The X-ray Spectra of The ULX NGC 5204 X-1 in Quest of the slim disk signatures Vierdayanti, Kiki (京都大学)	09:24	J18a Tail Emission of Prompt Gamma-Ray Burst Jets 山崎 了 (広島大学)
16:18	J10b 新たな矮新星 TSS J022216.4+412259.9 の発見と観測: WZ Sge 型矮新星の最短スーパーハンプ周期の更新 久保田香織 (京都大学)	09:36	J19a ガンマ線バースト最初の三時間と efficiency crisis 井岡邦仁 (京都大学)
		09:48	J20a 非一様ジェットモデルによるガンマ線バーストの初期X線残光 当真賢二 (京都大学)
		10:00	J21a ガンマ線バーストのパルスの固有パラメータと内部衝撃波モデル 高木 亮 (筑波大学)

10:12	J22a	Deposition Energy due to Neutrino Reactions in GRB 高橋 勇太 (東京大学)	13:24	J33a	パルサー磁気圏における電子・陽電子ペア生成の効果の粒子シミュレーションによる研究 II 和田智秀 (山形大学)
10:24	J23a	ガンマ線バーストで探る赤外線背景放射の起源と 米徳大輔 (金沢大学)		J34c	中性子星磁気圏から噴出する相対論的アウトフローの磁気流体数値実験 浅野栄治 (千葉大学)
	J24c	ガンマ線バーストによる高エネルギーニュートリノ背景放射 村瀬孔大 (京都大学)	13:36	J35a	衝撃波と反平行磁場の相互作用による粒子加速 永田健太郎 (大阪大学)
10:36	J25b	すざく衛星搭載広帯域全天モニタ (WAM) による GRB の観測 杉田聡司 (青山学院大学)	13:48	J36a	原始中性子星における磁気流体不安定性 (II) 政田洋平 (京都大学)
10:36	J26b	Short GRB 050724 の早期からの継続的な可視光追観測 浦田裕次 (理化学研究所)		J37c	中性子星内部における Exotic Cooling 過程が X 線バーストに及ぼす影響 野田常雄 (九州大学)
10:36	J27b	早大 20m 固定球面鏡による高銀緯電波バーストの観測 国吉雅也 (早稲田大学)	14:00	J38a	GEOTAIL 衛星による SGR1900+14 巨大フレアの観測 田中康之 (東京大学)
10:48	J28b	準周期的振動 (QPO) のメカニズムを探る 佐藤孔明 (立教大学)	14:12	J39a	すざく衛星による X 線パルサー Her X-1 の観測 鈴木素子 (理化学研究所)
10:48	J29b	降着円盤とそのラインスペクトルの時間進化 川田明寛 (大阪教育大学)	14:24	J40a	Swift 衛星 BAT による弱磁場中性子星の硬 X 線変動の観測 三谷烈史 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)
10:48	J30b	磁気回転不安定によって駆動される磁気乱流について 佐野孝好 (大阪大学)	14:36	J41a	チャンドラ X 線天文衛星を用いたカニ星雲の長期モニター観測 森 浩二 (宮崎大学)
3月28日 (火) 午後・G会場			14:48	J42b	すばる望遠鏡とハワイ大学 2.2m 望遠鏡を用いたカニ星雲の近赤外スペクトル解析 山本幹生 (宮崎大学)
13:00	J31a	ジェット先端におけるプラズマ流の二次元解析モデル 伊藤裕貴 (早稲田大学)	14:48	J43b	Suzaku 衛星による X 線パルサー A0535+26 の解析 須藤敬輔 (立教大学)
13:12	J32a	ニュートリノ冷却優勢円盤の構造とその安定性について 川中宣太 (京都大学)			

K. 超新星爆発

3月29日(水) 午前・G会場		3月27日(月) 午前・E会場	
09:00	J44a 相対論的輻射流体力学における速度依存変動エディントン因子 福江 純 (大阪教育大学)	10:00	K01a 8.38GHz での超新星残骸アトラス計画 環 哲平 (山口大学)
09:12	J45a 速度依存変動エディントン因子を用いた相対論的球対称輻射輸送流 秋月千鶴 (大阪教育大学)	10:12	K02a 超新星残骸でのランダウ共鳴の探査 大曾根聡子 (産業技術総合研究所)
09:24	J46a ブラックホールおよび中性子星周囲の超臨界降着流 大須賀 健 (立教大学)	10:24	K03a XMM-Newton による白鳥座ループ南西シェル領域の観測 並木雅章 (大阪大学)
09:36	J47a 超臨界降着流の新しい自己相似解 渡会兼也 (大阪教育大学)	10:36	K04a 「すざく」による SgrA East の観測 内山秀樹 (京都大学)
09:48	J48a 自己相似的磁気降着流 嶺重 慎 (京都大学)	10:48	K05b 「すざく」衛星観測による SNR1987A の X 線放射 伊藤真之 (神戸大学)
10:00	J49a ガス圧優勢降着円盤の力学的および熱力学的平衡状態 廣瀬重信 (海洋研究開発機構)	10:48	K06b シェル型の超新星残骸 G330.2+1.0 からの非熱的 X 線放射の発見 内田裕之 (大阪大学)
10:12	J50a 磁気圧優勢領域を含むブラックホール降着円盤の 2 温度定常解 小田 寛 (千葉大学)	10:48	K07b SNR Tycho 領域の分光観測による Ia 型超新星伴星の探査 井原 隆 (東京大学)
10:24	J51a QPO の共鳴振動モデルによるブラックホール X 線星の spin 評価 加藤正二 (奈良産業大学)	11:00	K08a すばるによる Tycho's SNR での伴星候補天体の分光観測に対する理論的考察 尾崎 仁 (東京大学)
10:36	J52a 鋸歯状振動発生に伴う降着円盤の準周期振動の励起 松元亮治 (千葉大学)	11:12	K09a Ia 型超新星からのニュートリノ放射 櫛瀬高志 (日本大学)
	J53c 磁気熱不安定性に関する 3次元磁気流体数値実験 中村賢仁 (松江工業高等専門学校)	11:24	K10a ニュートリノ輸送流体計算による原始中性子星・ブラックホール形成 住吉光介 (沼津高等専門学校)
10:48	J54a 磁気ターボ駆動型宇宙ジェットの大規模構造と進化 加藤成晃 (筑波大学)	11:36	K11a 重力崩壊型超新星爆発における非等方ニュートリノ放射の出現とその爆発への影響 間所秀樹 (理化学研究所)
11:00	J55a ブラックホール・オーロラ：リング状 MHD Shock 形成 高橋真聡 (愛知教育大学)	11:48	K12a 超新星ニュートリノイベントの観測とニュートリノ振動 吉原一久 (東京理科大学)

12:00	K13a 超新星ニュートリノの物質効果と ニュートリノ振動パラメータ 川越至桜 (総合研究大学院大学)	15:06	K24b 超新星爆発の発生の瞬間の可視光探 査 吾妻洋樹 (東京理科大学 / 理化学 研究所)
12:12	K14a 超新星ニュートリノ風における陽子 捕獲元素合成 和南城伸也 (東京大学)		K25c 超新星の早期分光の現状：2003 ~ 2005 金井沙織 (九州大学)
12:24	K15b 大質量星の MHD による超新星爆発 と p 過程元素合成 西村信哉 (九州大学)		K26c Collapsar model の MHD シミュ レーションによるジェットの質量依 存性 小野勝臣 (九州大学)
	K16c Ia 型超新星による元素合成の金属量 依存性 大久保琢也 (東京大学)		K27c 現実的状态方程式による、大質量回 転星コアの重力崩壊の一般相対論的 数値流体シミュレーション 関口雄一郎 (東京大学)
3月27日(月) 午後・E会場			
14:30	K17a 特異な Ib 型超新星 SN 2005bf (1) スペクトル解析 田中雅臣 (東京大学)	15:18	K28a 超新星の磁気駆動爆発の系統的研究 滝脇知也 (東京大学)
14:42	K18a 特異な Ib 型超新星 SN 2005bf (2) 光度曲線・爆発モデル 富永 望 (東京大学)	15:30	K29a 鉄コアの重力崩壊における質量依存 性 中里健一郎 (早稲田大学)
14:54	K19b 非球対称超新星からの X 線、 γ 線放 射の多次元輻射計算 前田啓一 (東京大学)	15:42	K30a 回転に対し傾いた磁場をもつ大質量 星コアの重力崩壊と超新星爆発 三上隼人 (千葉大学)
14:54	K20b スペクトルを用いた遠方超新星の Type 決定 時田幸一 (東京大学)	15:54	K31a 巨大質量星の重力崩壊とその質量依 存性 諏訪雄大 (東京大学)
14:54	K21b Ia 型超新星の初期スペクトルにおけ る高速度吸収線 田中雅臣 (東京大学)	16:06	K32a パルサーキックと超新星爆発 - prompt vs. delayed explosion - 澤井秀朋 (早稲田大学)
15:06	K22b SDSS Supernova Survey 2005 安田直樹 (東京大学)		
15:06	K23b 非等方 QCD 相転移が重力崩壊型超 新星爆発に及ぼす影響 安武伸俊 (九州大学)		

L. 太陽系

3月27日(月) 午前・F会場	
10:00	L01a シュレディンガー方程式と太陽系 新村公剛(新村公剛公認会計士事務所)
10:12	L02a 彗星氷中に含まれるメタン分子の重水素/水素比 河北秀世(京都産業大学)
10:24	L03a ディープインパクト衝突のすばる望遠鏡による中間赤外線分光観測：彗星内部ダストの組成と粒径分布 大坪貴文(名古屋大学)
10:36	L04a はやぶさミッション目的小惑星 Itokawa の中間赤外線観測：サイズと表層特性 関口朋彦(国立天文台)
10:48	L05a 惑星間中性水素の非対称成分 中川広務(東北大学)
11:00	L06a 多様体補正法による人工衛星の高精度、高速数値積分 梅谷真史(近畿大学)
11:12	L07a 差分演算子の応用：差分軌道の運動方程式 福島登志夫(国立天文台)
11:24	L08a 木星の準衛星：II 木下 宙(国立天文台)
11:36	L09b トロヤ群小惑星の昇交点の共鳴 中井 宏(国立天文台)
11:36	L10b 小惑星近傍における「はやぶさ」探査機の追跡データ解析 吉川 真(宇宙航空研究開発機構)
11:36	L11b Picard-Chebyshev 法の軌道力学への応用とそのベクトル化・並列化 荒木田英禎(国立天文台)
11:48	L12b 流星痕の輻射点高度別および母流星絶対光度別の、形態分類 比嘉義裕(日本流星研究会)
11:48	L13b 小惑星(832)カリンの可視多色測光観測 宮坂正大(東京都庁)
11:48	L14b ISLE を用いた金星夜面近赤外線撮像観測 佐藤靖彦(東京理科大学/国立天文台)
12:00	L15b 「第十惑星」2003 UB313 の電波観測 伊藤洋一(神戸大学)
	L16c 火星における気候摩擦による自転傾斜の永年変動：内部粘性構造の影響の再検討 原田雄司(東京大学)

M. 太陽

3月27日(月) 午前・D会場		3月27日(月) 午後・D会場	
11:00	M01a CallK 線スペクトルによるコロナX線輝点下の彩層診断 V. 渡邊鉄哉 (国立天文台)	14:30	M12a 視線方向磁場観測データによる活動領域磁気エネルギー蓄積の研究 I 横山央明 (東京大学)
11:12	M02a コロナへの高温プラズマの供給機構 柴崎清登 (国立天文台)	14:42	M13a 強いフレアを発生する活動領域における磁気シア発達過程の分類 黒河宏企 (京都大学)
11:24	M03a ストークスV プロファイルの非対称度の空間分布 島田浩平 (東京大学)	14:54	M14a Study of magnetic non-potentiality in a strong flare-active region NOAA 10720 Dun, Jinping (京都大学)
11:36	M04a 非対称 Stokes プロファイルのインバージョンで探るコロナ加熱エネルギー励起機構 永田伸一 (京都大学)	15:06	M15a 京都大学飛騨天文台太陽磁場活動望遠鏡 (SMART) による活動領域 NOAA 10808 の観測 石井貴子 (京都大学)
11:48	M05a 太陽表面の磁気要素の高分解能観測 北越康敬 (東京大学)	15:18	M16a Magnetic structures formed by twisted emerging magnetic field and their features on the Sun (捻れを持つ浮上磁場が形成する磁場構造とその太陽面における特徴) 真柄哲也 (University of California Berkeley)
12:00	M06a 対流崩壊で形成される光球磁束管の3次元MHDシミュレーション 高橋邦生 (総合研究大学院大学)	15:30	M17a マイクロフレアに伴う彩層での下降流と磁場構造 鹿野良平 (国立天文台)
12:12	M07a 打ち上げ迫る SOLAR-B 常田佐久 (国立天文台)	15:42	M18a 黒点を発生しない短命領域の浮上に伴う彩層活動の研究 大辻賢一 (京都大学)
12:24	M08b 3次元MHDシミュレーションによる太陽浮上磁場の振舞い 野澤 恵 (茨城大学)	15:54	M19a 太陽コロナ静穏領域における small-scale dynamics の研究 山内洋平 (京都大学)
12:24	M09b SOLAR-B SPデータからのベクトル磁場マップ生成を目的とした Milne-Eddington フィッティングコードの開発 勝川行雄 (国立天文台)	16:06	M20a スピキュールの H α スペクトル観測 小路真木子 (京都経済短期大学)
	M10c 乱流モデルによる対流層からのヘリシティ入射量の評価 山本哲也 (東京大学)	16:18	M21a 黒点周辺部で頻発する磁気的光球超音速流の発見 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)
	M11c 太陽風構造を取り入れた惑星間空間シミュレーション 小川智也 (情報通信研究機構)		

N. 恒星

		3月28日(火) 午後・E会場	
16:30	M22a 黒点通過時の115-1600nmの放射変動についてSORCE衛星の観測から 横山正樹(名古屋大学)	13:00	N01a すばる高分散分光器による超低金属星の化学組成解析 II. 炭素過剰天体 青木和光(国立天文台)
16:42	M23a 南極氷床コアから発見された1000年前の太陽活動周期 望月優子(理化学研究所)	13:12	N02a 金属欠乏星の金属度-1付近における硫黄の振舞い 比田井昌英(東海大学)
3月28日(火) 午前・D会場		13:24	N03a 中低質量超金属欠乏星での中性子捕獲反応過程 西村高德(北海道大学)
09:00	M24a 「すざく」衛星搭載硬X線検出器広帯域全天モニタ部による太陽フレアの観測 寺田幸功(理化学研究所)	13:36	N04a 低・中質量星進化に起因する金属欠乏星の元素汚染 須田拓馬(北海道大学)
09:12	M25a 2003年5月29日X1.2クラスフレア非熱放射のスペクトル解析 簗島敬(東京大学)	13:48	N05a 球状星団の力学的進化を考慮した恒星進化の新しい描像 山田志真子(北海道大学)
09:24	M26a 野辺山電波ヘリオグラフおよびRHESSI衛星で観測した、Over-the-Limb Flareにおけるループトップ放射源 浅井歩(国立天文台)	14:00	N06a 球状星団M15の中性子捕獲元素 本田敏志(国立天文台)
09:36	M27a The Relation between Soft X-ray Ejections and Hard X-ray Emission on November 24 Flare 高崎宏之(京都大学)	14:12	N07a B型輝線星 Decretion Disk の non-LTE モデル 岩松英俊(京都大学)
09:48	M28a Radio and hard X-ray Quasi-periodic pulsations during the 2004 July 13 flare 堀久仁子(国立天文台)	14:24	N08a 星周エンベロープを伴う連星の理論散乱モデル II. 密度非一様エンベロープ 磯貝瑞希(東京大学)
10:00	M29a 京都大学飛騨天文台 SMART 望遠鏡で観測されたモートン波について 成影典之(京都大学)	14:36	N09b VY CMa 星周領域における金属線の高分散分光偏光観測 松田健太郎(東北大学)
10:12	M30a H α 線と紫外線で観測されるフレアリボンとフレアカーネルについて 西塚直人(京都大学)	14:36	N10b AGB星 R Tri における可視偏光特性の特異な時間変動 長俊成(東北大学)
10:24	M31a 1600 Å 増光とフレア、およびEFRとの関連 齊藤祥行(京都大学)	14:36	N11b 星周領域での偏光現象に関する数値シミュレーション 野田さえ子(東北大学)
		14:48	N12b 短周期激変星の低分散近赤外分光観測 石岡涼子(国立天文台)

14:48	N13b 短周期振動星を含むアルゴル系 RZ Cas は λ Boo 型か? 鳴沢真也 (西はりま天文台)	10:48	N24b 銀河系ハコ一部に属する惑星状星雲の高分散分光観測 大塚雅昭 (国立天文台)
	N14c 西はりま 2m 望遠鏡で発見されたブレオネ (28 Tau) の新活動期 鳴沢真也 (西はりま天文台)	10:48	N25b M 型ミラ型変光星における中間赤外線スペクトルの時間変化 上塚貴史 (東京大学)
3月29日(水) 午前・E会場			
09:00	N15a lc 型超新星の星周物質との相互作用による軽元素合成 中村 航 (東京大学)	10:48	N26b 晩期型星の水・一酸化珪素レーザーの重ね合わせのためのフリンジチェック観測 Choi, Yoonkyung (東京大学)
09:12	N16a 星食観測から求められたアンタレスの伴星の角距離 相馬 充 (国立天文台)	11:00	N27b 鹿児島大学 1m 望遠鏡を用いた AGB 星の赤外観測 宮原 豪 (鹿児島大学)
09:24	N17a 恒星振動の双極子モードの積分についての考察 高田将郎 (東京大学)	11:00	N28b 近赤外線分光による銀河面上の暗い X 線点源の正体解明と $\log N - \log S$ 関係 辻本匡弘 (立教大学)
09:36	N18a コロナ / 恒星風境界線の解明 鈴木 建 (京都大学)	11:00	N29b XMM-Newton 衛星による早期型星の X 線スペクトル線解析 山本則正 (名古屋大学)
09:48	N19a 2MASS 公開画像中にみられる変動天体 高妻真次郎 (九州大学)	11:12	N30b Suzaku X 線衛星による AM Her と AB Dor の short pointing 観測 半谷雅志 (中央大学)
10:00	N20a 大マゼラン雲のカラーマップ 中田好一 (東京大学)	11:12	N31b Wolf-Rayet 連星 Theta Muscae の X 線スペクトル解析 菅原泰晴 (中央大学)
10:12	N21a 空間干渉計データ及び赤外スペクトルによる赤色超巨星 MOLSPHERE (分子光球) の最終確認と経験的モデル 辻 隆 (東京大学)	11:12	N32b 「すざく」による、大質量星 η Carinae の観測 関口晶子 (立教大学)
10:24	N22a PPN IRAS19134+2131 水蒸気レーザーの年周視差・固有運動・内部運動 今井 裕 (鹿児島大学)		N33c X 線パラメータとその半径依存性から導いた星の X 線分布 岩本宙礼 (中央大学)
10:36	N23a 「すざく」による惑星状星雲 BD +30° 3639 の元素組成比の測定 村島未生 (東京大学)		

P. 星・惑星形成

3月27日(月) 午前・C会場		3月27日(月) 午後・C会場	
10:00	P01a 初期銀河ハローの質量関数 ～炭素過剰金属欠乏星の進化モデルから～ 小宮 悠 (北海道大学)	12:00	P13b Relative Evolutionary Time Scale of Hot Molecular Cores with Respect to Ultra Compact HII Regions 古屋 玲(カリフォルニア工科大学)
10:12	P02a 銀河系最外縁でみる、銀河形成期の星生成 安井千香子 (東京大学)	12:12	P14b VERA による W3(OH) 水メーザーの位相補償 VLBI 観測 倉山智春 (国立天文台)
10:24	P03a 大マゼラン星雲中の星形成領域 Henize 206 の近赤外線観測 金安 渚 (明星大学)	12:12	P15b VERA で計測された IRAS16293-2422 水メーザーの年周視差・固有運動・内部運動 今井 裕 (鹿児島大学)
10:36	P04a 大マゼラン雲の N11 における誘発的星形成 羽田野裕史 (名古屋大学)	12:12	P16b SIRPOL の開発 II : ファーストライト観測 神鳥 亮 (国立天文台)
10:48	P05a クラスタ形成領域の高密度ガス・分子流の NMA 観測 島尻芳人 (東京大学)	3月27日(月) 午後・C会場	
11:00	P06a 大質量星形成領域のホットコアにおける大型有機分子 坂井南美 (東京大学)	14:30	P17a 強度変動を中心とした 6.7GHz メタノールメーザーのターゲットサーベイ 澤田昭浩 (山口大学)
11:12	P07a 野辺山 45m 望遠鏡による星団形成領域の高密度クランプの観測 齋藤弘雄 (国立天文台)	14:42	P18a VLBI 観測による 6.7GHz メタノールメーザー空間分布の研究 杉山孝一郎 (山口大学)
11:24	P08a NGC 7538 領域における高密度クランプサーベイー 巨大アウトフローによる誘発的クラスタ形成? 本郷 聡 (東京工業大学)	14:54	P19a VERA による W51A 領域の内部固有運動観測 官谷幸利 (国立天文台)
11:36	P09a 大質量星形成領域 NGC6334V 橋本 淳 (東京理科大学)	15:06	P20a 星形成領域 ON1 の水メーザー スポット運動の解明 永山 匠 (鹿児島大学)
11:48	P10a W5E HII 領域の電波観測 丹羽隆裕 (神戸大学)	15:18	P21a VERA によるオリオン座・いっかくじゅう座分子雲複合体の H ₂ O メーザー源モニター観測 (3) 廣田朋也 (国立天文台)
12:00	P11b 微量の重元素をもった超新星残骸の熱的進化 長倉隆徳 (東京大学)	15:30	P22a 散開星団の形状が伝える星形成機構への拘束条件 釜谷秀幸 (京都大学)
12:00	P12b VERA による NGC7538 領域の水メーザー観測 亀谷 収 (国立天文台)	15:42	P23a 星団の形成過程について: アウトフローによる乱流維持 中村文隆 (新潟大学)

15:54	P24a 分子流を噴出する前段階の原始星 GF 9-2 に星形成の初期条件を探る 古屋 玲(カリフォルニア工科大学)	09:24	P36a 野辺山 45m 鏡とミリ波干渉計による原始連星系 NGC1333 IRAS4A の観測 黒野泰隆 (東京大学)
16:06	P25a 中小質量星形成効率の推定. 初期構造への依存性 中野武宣 (一)	09:36	P37a アウトフローと星間磁場の整列—ALMA で見るアウトフロー加速現場— 松本倫明 (法政大学)
16:18	P26b 磁気乱流下で形成される高密度ガス塊の構造と磁場との相関 杉本香菜子 (筑波大学)	09:48	P38a 磁気散逸 MHD による第二コアからの高速ジェット駆動機構の解明 町田正博 (京都大学)
16:18	P27b ファーストコア天体の観測的性質 大向一行 (国立天文台)	10:00	P39a 前主系列星におけるフレアのシミュレーションおよび予測される硬 X 線スペクトル 川道俊見 (京都大学)
16:18	P28b V1647 Ori and Mcneil's Nebula の測光 勝浦真弓子 (大阪教育大学)	10:12	P40a 原始星フレアが原始惑星系円盤に与える影響 白鷹範子 (東京工業大学)
16:30	P29b T タウリ星 UY Aur の近赤外コロナグラフ観測 日置智紀 (神戸大学)	10:24	P41b Herbig Ae/Be 型星星周円盤の 20 μ m 帯撮像観測 II 本田充彦 (宇宙航空研究開発機構)
16:30	P30b へびつかい座 ρ 分子雲コアにおける赤外線分光観測 石原明香 (東京大学)	10:24	P42b 原始星円盤における磁気回転不安定性の 3 次元磁気流体数値実験 町田真美 (国立天文台)
16:30	P31b S106 に存在する超低質量天体の近赤外分光観測 大朝由美子 (神戸大学)	10:24	P43b 連星系周りのガス円盤の長時間進化—ガス円盤の粘性の効果— 今枝佑輔 (神戸大学)
16:42	P32b 広視野グリズム分光装置 WFGS2 による T タウリ型星の H α 輝線モニター観測 杉谷光司 (名古屋市立大学)	10:36	P44b 衝撃波加熱による部分熔融ダスト剥ぎ取りの温度依存性 保田誠司 (筑波大学)
16:42	P33b H α Spectroscopic study of Herbig Ae star AB Aurigae Jearnkulprasert, Ngarmjit (東北大学)	10:36	P45b 衝撃波加熱過程における複合コンドリュールの形成可能性 中本泰史 (筑波大学)
3月28日(火) 午前・C会場			
09:00	P34a すばる望遠鏡による GQ Lup B の近赤外線分光観測 工藤智幸 (総合研究大学院大学)	10:36	P46b G 型巨星における惑星系の日韓共同探査 .II 増田盛治 (国立天文台)
09:12	P35a Class 0 天体 Lupus 3 ミリ波源の中心天体 立原研悟 (神戸大学)	10:48	P47b すばる望遠鏡 FOCAS による TrES-1 のトランジット法観測 早水友洋 (成蹊高等学校)

10:48	P48b 系外惑星系におけるプラズマトーラスからの輝線 福江 翼 (京都大学)	3月29日(水) 午前・C会場	
10:48	P49b スペース望遠鏡による hot Jupiter の大気振動観測の可能性 福江 翼 (京都大学)	09:00	P60a 高速ガス流中における融解ダストの力学的振る舞い—2 三浦 均 (筑波大学)
3月28日(火) 午後・C会場		09:12	P61a がか座ベータ星の初の2ミクロン偏光観測 田村元秀 (国立天文台)
13:00	P50a ASTE による Herbig Ae 型星観測の ^{12}CO , $^{13}\text{CO}(J=3-2)$ 観測 百瀬宗武 (茨城大学)	09:24	P62a 惑星の平均運動共鳴でのダスト捕獲 竹内 拓 (神戸大学)
13:12	P51a Lupus 分子雲における古典的 T タウリ型星のサブミリ波輝線観測 塚越 崇 (総合研究大学院大学)	09:36	P63a ディスク不安定による巨大ガス惑星形成の証拠 松尾太郎 (名古屋大学)
13:24	P52a Inner-rim of a molecular disk spatially resolved in infrared CO emission 後藤美和 (MPIA)	09:48	P64a 連星系における微惑星からの原始惑星成長 長沢真樹子 (国立天文台)
13:36	P53a SED モデルを用いたベガ型星の星周ダスト円盤の進化の究明 小林久人 (東京大学)	10:00	P65a Type I migration における自己重力の影響 谷川享行 (東京工業大学)
13:48	P54a 光蒸発する原始惑星系円盤中のダスト進化 野村英子 (神戸大学)	10:12	P66a 円盤ガスから水を獲得しうる地球型惑星の質量 生駒大洋 (東京工業大学)
14:00	P55a すばる COMICS による HAEBE 型星周円盤 $10\mu\text{m}$ 帯放射の空間分解 1 岡本美子 (茨城大学)	10:24	P67a M 型星の Habitable Zone における地球型惑星の形成 山城かすみ (東京工業大学)
14:12	P56a Herbig Ae 型星 HD 142527 周囲の原始惑星系円盤の中間赤外線撮像観測 藤原英明 (東京大学)	10:36	P68a 系外惑星系における楕円軌道巨大惑星の形成過程における地球型惑星の軌道安定性 大日方 誠 (東京工業大学)
14:24	P57a Subaru/COMICS 分光観測に基づく MWC1080 周囲でのダストの変質 左近 樹 (東京大学)	10:48	P69a 地球型惑星の自転 小久保英一郎 (国立天文台)
14:36	P58a 原始惑星系円盤におけるダストの成長と構造進化 田中秀和 (北海道大学)	11:00	P70a 系外地球型惑星の自転軸傾斜角進化 跡部恵子 (東京工業大学)
14:48	P59a 原始惑星系円盤内でのダスト進化における衝突破壊の効果 陶山 徹 (東京工業大学)	11:12	P71a 銀河潮汐力による微惑星の軌道進化—オールト雲の形成— 樋口有理可 (国立天文台/神戸大学)

Q. 星間現象

3月28日(火) 午前・B会場		3月28日(火) 午後・B会場	
09:00	Q01a 水素プラズマとの反応から再凝縮したシリケートの物質構造 木村誠二 (電気通信大学)	10:48	Q13b 惑星状星雲形成の two-wind model の検証 松本裕子 (京都大学)
09:12	Q02a 炭素質物質 (QCC) の青いホトルミネッセンス 水谷芳宏 (電気通信大学)	10:48	Q14b 散逸の入った磁気流体力学における中間衝撃波の発展性条件に対する再考 井上剛志 (京都大学)
09:24	Q03a 炭素質の塵とプラズマガスの反応 山本泰士 (電気通信大学)		Q15c 自己重力を考慮した輻射流体力学の波動 森田一彦 (北海道薬科大学)
09:36	Q04a 中間赤外線分光から探る星形成領域の depletion pattern 岡田陽子 (東京大学)		Q16c 銀河ダイナモの大局的3次元磁気流体数値実験 錦織弘充 (千葉大学)
09:48	Q05a 散乱光 profile から暗黒星雲の内部構造を探る 福原和晴 (北海道大学)	3月28日(火) 午後・B会場	
10:00	Q06a 近赤外散乱光を用いた暗黒星雲の柱密度の見積もり 中島 康 (国立天文台)	13:00	Q17a ASTE による銀河系中心領域 CO J=3-2 広域観測 (I) 岡 朋治 (東京大学)
10:12	Q07a オリオン座 A 分子雲の N ₂ H ⁺ 観測 立松健一 (国立天文台)	13:12	Q18a ASTE による銀河系中心領域 CO J=3-2 広域観測 (II) —LVG 解析による物理状態の評価 永井 誠 (東京大学)
10:24	Q08b Polaris cirrus 中の分子雲コア MCLD123.5+24.9 の力学的安定性 櫻井冬子 (東京学芸大学)	13:24	Q19a 銀河系中心超新星残骸 SgrAeast と 50km/s 分子雲との相互作用 坪井昌人 (国立天文台)
10:24	Q09b Digitized Sky Survey I に基づく暗黒星雲データベースの公開 土橋一仁 (東京学芸大学)	13:36	Q20a 銀河系中心方向の近赤外線星間減光則 西山正吾 (名古屋大学)
10:24	Q10b 銀河系内縁部の分子雲における ¹³ CO/C ¹⁸ O 存在量比 酒井 剛 (国立天文台)	13:48	Q21a H ₃ ⁺ 吸収線による、銀河系中心領域の暖かく低密度なガスの発見 白田知史 (国立天文台)
	Q11c ASTE によるアウトフロー天体の 350 GHz 帯サブミリ波輝線の探査 高見道弘 (国立天文台)	14:00	Q22a 「すざく」による分子雲 Sgr.B2 領域の中性輝線観測 乾 達也 (京都大学)
10:36	Q12a 背景磁場がある場合の電子・陽電子プラズマ中の無衝突衝撃波 加藤恒彦 (国立天文台)	14:12	Q23a 「すざく」による銀河中心 Radio Arc 領域の鉄輝線観測 村上弘志 (宇宙航空研究開発機構)

14:24	Q24a 「すざく」による銀河中心 Sgr A 領域からの硬 X 線放射の観測 千田篤史 (理化学研究所)	09:24	Q35a X 線天文衛星「すざく」による超新星残骸 SN 1006 の観測 馬場 彩 (理化学研究所)
14:36	Q25b 「すざく」衛星による銀河中心、および銀河面からの硬 X 線放射の観測 大貫宏祐 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	09:36	Q36a すざく衛星による超新星残骸 RX J1713.7 - 3946 の観測 田中孝明 (宇宙航空研究開発機構)
14:36	Q26b 「すざく」衛星による Sgr B2 領域からの硬 X 線放射の研究 田村健一 (宇宙航空研究開発機構)	09:48	Q37a すざく衛星による銀河面からの X 線放射スペクトル 山内茂雄 (岩手大学)
14:36	Q27b A Multi-Wavelength Study of the Jet Powered SNR W50 小谷太郎 (東京工業大学)	10:00	Q38a 観測的可視化で探る星間乱流における熱的不安定の役割 山田雅子 (国立天文台)
	Q28c すざく衛星によるカリーナ星雲の観測—拡散 X 線放射の起源 濱口健二 (NASA/GSFC)	10:12	Q39a 電離領域外縁部のシェル状 HI 自己吸収について 細川隆史 (国立天文台)
14:48	Q29b ASCA 銀河面サーベイで見つかった電波放射を持つ 3 つの微弱 X 線源の放射源の推定 杉崎 睦 (スタンフォード大学)	10:24	Q40a 分子雲内部における温かい中性ガスの存在可能性について 犬塚修一郎 (京都大学)
14:48	Q30b 「なんてん」銀河面サーベイによる第一象限のスーパーシェル探査 伊藤晋吾 (名古屋大学)	10:36	Q41a Molecular Clouds and HI in the Carina Flare Supershell Dawson, Joanne (名古屋大学)
	Q31c すざく衛星による TeV γ 線天体 HESS J1616-508 の観測 松本浩典 (京都大学)	10:48	Q42a 大マゼラン雲巨大分子雲の CO 多輝線観測 水野陽治 (名古屋大学)
	Q32c 『すざく』による North Polar Spur の観測 Eric, Miller (大阪大学)	11:00	Q43a ASTE によるマゼラン雲の [C] 輝線観測 南谷哲宏 (名古屋大学)
3月29日(水) 午前・B会場		11:12	Q44a 近傍銀河における巨大分子雲の性質 河村晶子 (名古屋大学)
09:00	Q33a すざくによるはくちょう座ループ北西端の観測 常深 博 (大阪大学)		
09:12	Q34a XMM-Newton 衛星による CygnusLoop の 6pointing 観測 勝田 哲 (大阪大学)		

R. 銀河

3月28日(火) 午前・A会場		3月28日(火) 午後・A会場	
09:00	R01a 高赤方偏移での始原ガス雲の進化 吉田直紀 (名古屋大学)	10:36	R12a 23 μ m dust feature を持つ starburst 銀河 田尻愉香 (京都大学)
09:12	R02a 大質量銀河の星形成はいつ完了したか? 藤代尚文 (東京大学)	10:48	R13b fossil group NGC6482 group の 近赤外線撮像観測 林 将央 (東京大学)
09:24	R03a 星のないダークハローでの矮小銀河 形成の可能性について 米谷貴信 (立教大学)	10:48	R14b CL 0939+4713 銀河団 (z=0.41) の分光観測 仲田史明 (国立天文台)
09:36	R04b 暗黒物質サブハローと銀河円盤の力学 相互作用 林 寛人 (東北大学)	10:48	R15b すばる COMICS を使った矮小銀河 NGC1569 の中間赤外線観測 左近 樹 (東京大学)
09:36	R05b すばる望遠鏡による超新星探査から 探る宇宙の星形成史 織田岳志 (京都大学)	3月28日(火) 午後・A会場	
09:36	R06b 銀河系形成期における軽元素合成と 「すばる」による低金属ハロー星の リチウム-6 同位体観測 井上 進 (国立天文台)	13:00	R16a IRAS 衛星によって観測された 4248 個の赤外線銀河の可視光波長 での性質 後藤友嗣 (宇宙航空研究開発機構)
09:48	R07a 宇宙および銀河の化学力学進化と極 超新星の寄与 II 小林千晶 (国立天文台)	13:12	R17a 銀河の構造解析による楕円銀河・レンズ 銀河の関連性と棒構造の検出 新井悠介 (東京学芸大学)
10:00	R08a 銀河系の非一様化学進化が示す O-Zn と中性子捕獲元素の元素合成 石丸友里 (工学院大学)	13:24	R18a 近傍銀河 NGC4244 のハロー構造 岡本桜子 (東京大学 / 国立天文台)
10:12	R09a 「すざく」及び「XMM-Newton」 によるスターバースト銀河 M82 の Superwind の観測 小澤 碧 (京都大学)	13:36	R19a Numerical Galaxy Catalog と Shapelets を用いた Image Simulation 古河貴裕 (東京大学)
	R10c XMM-Newton 衛星による近傍渦巻 銀河の観測 島田 悟 (東京理科大学)		R20c M32(NGC221) の形成と進化 山田善彦 (国立天文台)
10:24	R11a Spitzer 衛星による近傍楕円銀河の 中間/遠赤外線撮像観測 金田英宏 (宇宙航空研究開発機構)	13:48	R21b 矮小銀河 LeoA の星形成史 白石昌子 (お茶の水女子大学)
		13:48	R22b HCG79 (セイファートの六つ子) の電離水素輝線分布マップ 柴田晃佐 (長野高専)

13:48	R23b 天の川銀河の中性水素原子・分子の3次元分布 中西裕之 (国立天文台)	10:00	R33a Formation of intermediate mass black holes in low central-density clusters with mass segregation Ardi, Eliani (京都大学)
14:00	R24a ASTE による GRB980425 母銀河の CO(3-2) 輝線探査 廿日出文洋 (東京大学)	10:12	R34a ブラックホール 3 体系をもつ銀河中心核の構造 岩澤全規 (東京大学)
14:12	R25a 渦巻銀河 M33 の渦状腕における高密度ガス形成と大質量星形成～NGC604 の分子ガス詳細観測～ 三浦理絵 (東京大学 / 国立天文台)	10:24	R35a 球状星団用 N 体計算コード GORILLA の開発 谷川 衝 (東京大学)
14:24	R26a Nobeyama CO Atlas of Nearby Spiral Galaxies III. Data 久野成夫 (国立天文台)	10:36	R36a GRAPE-DR の制御プロセッサと FPGA 実証システムの開発 藤野 健 (東京大学)
3月29日(水) 午前・A会場			
09:00	R27a 銀河バルジ内部棒状構造内の一酸化珪素レーザー探査と星の運動学 出口修至 (国立天文台)	10:48	R37b Schwarzschild の方法による銀河系モデル構築の精度評価 出田 誠 (国立天文台)
09:12	R28a VERA による星形成領域 S269 の高精度位置天文観測 本間希樹 (国立天文台)	10:48	R38b 衛星銀河起源の星の離心率の分布 藤井通子 (東京大学)
09:24	R29a 銀河中心方向の“近赤外”暗黒星雲の近傍 CO 分子雲との同定 佐藤修二 (名古屋大学)	R39c 形成過程にある円盤における棒状構造の形成 馬場淳一 (東北大学)	
09:36	R30a 「すざく」による銀河中心領域の観測：広がった高温プラズマの大局構造 兵藤義明 (京都大学)		
09:48	R31a ミリ波干渉計による、赤外線銀河中に埋もれた AGN の探査 今西昌俊 (国立天文台)		
	R32c 巨大ブラックホールバイナリーと爆発的星形成 松井秀徳 (北海道大学)		

S. 活動銀河核

3月27日(月) 午後・E会場		3月28日(火) 午前・E会場	
16:18	S01b すざく衛星による high-z ブレーザー SWIFT J0746.3+2548 の観測 渡辺 伸 (宇宙航空研究開発機構)	09:00	S12a 「すざく」衛星による 2 型セイファート銀河 NGC 4945 の観測 伊藤 健 (東京大学)
16:18	S02b セイファート銀河 NGC4151 の狭輝線領域ガスの運動の構造 下農淳司 (京都大学)	09:12	S13a PG クエーサの平均的なスペクトルにおける鉄輝線の形状 井上裕彦 (宇宙航空研究開発機構)
16:18	S03b バーチャル天文台を利用した QSO 周辺環境の統計的調査 白崎裕治 (国立天文台)	09:24	S14a X線スペクトル変動で探る NGC 4051 の中心核構造 幅 良統 (名古屋大学)
16:30	S04b 活動銀河 NGC 1052 の H ₂ O メーザーのモニター観測 亀野誠二 (国立天文台)	09:36	S15a MAGNUM プロジェクト : Markarian 744 おける可視・赤外変光遅延時間の変化 越田進太郎 (東京大学)
16:30	S05b 活動銀河 NGC 1052 に H66 α 吸収線を発見 吉川 亮 (東京大学)	09:48	S16a SDSS を用いた Broad Absorption Line Quasar の解析 榎本義之 (名古屋大学)
16:30	S06b 高銀緯に現れた突発的電波天体 新沼浩太郎 (早稲田大学)	10:00	S17a 低光度系外水メーザーの高空間分解能観測 萩原喜昭 (国立天文台)
16:42	S07b 若い電波銀河の断熱冷却 浅田圭一 (国立天文台)	10:12	S18a 近傍の狭輝線セイファート 1 型のパーセクスケールジェット : VLBI 観測の結果 土居明広 (山口大学)
16:42	S08b VSOP-2 による偏波観測の検討 浅田圭一 (国立天文台)	10:24	S19a 若い AGN の recurrent activity 原田慶一朗 (山口大学)
16:42	S09b 2次元輻射輸送計算を用いた宇宙ジェットに対する輻射抵抗の影響の研究 青木成一郎 (大阪大学)	10:36	S20a The nature of Intra-Day Variables and Prospects for VSOP-2 Edwards, Philip G. (宇宙航空研究開発機構)
16:54	S10b Resistive Radiative MHD Flows and Shocks around Kerr Black Holes 高橋芳太 (東京大学)	10:48	S21a 重力レンズ天体 PKS1830-211 のポジションアングルの時間・周波数変化 藤下光身 (九州東海大学)
	S11c 活動銀河中心ブラックホールまわりの降着円盤内における分子形成 富田昭博 (熊本大学)	11:00	S22a 銀河中心デシメータ波帯電波パルス群の発見 大家 寛 (福井工業大学)
		11:12	S23a 高温プラズマからの電子・陽電子流の数値実験 浅野勝晃 (国立天文台)

T. 銀河団

3月27日(月) 午前・G会場		3月27日(月) 午後・G会場	
10:00	T01a すざく衛星による Fornax 座銀河団の観測 松下恭子 (東京理科大学)	12:24	T13b 「すざく」衛星による銀河団の硬 X 線放射の探査 中澤知洋 (宇宙航空研究開発機構)
10:12	T02a 「すざく」衛星による銀河団の外側の ICM の観測 田村隆幸 (宇宙航空研究開発機構)	12:24	T14b 大離角重力レンズ系 SDSS J1004+4112 の時間の遅れと NFW プロファイルのベキへの制限可能性 川野羊三 (名古屋大学)
10:24	T03a 銀河団周辺の Warm-Hot Intergalactic Medium の X 線分光観測 竹井 洋 (宇宙航空研究開発機構)		T15c XMM-Newton 衛星によるクーリングフロー銀河団の観測 茅野真裕 (東京理科大学)
10:36	T04a Chandra 衛星による銀河団に属する銀河からの延伸した X 線放射 飯塚 亮 (宇宙航空研究開発機構)		T16c かみのけ座銀河団中にある銀河に属さない惑星状星雲の検出 岡村定矩 (東京大学)
10:48	T05a XMM-Newton 衛星で観測された銀河団 Abell 496 の非一様な温度分布 田中 武 (名古屋大学)	3月27日(月) 午後・G会場	
11:00	T06a XMM-Newton 衛星による銀河団の重力質量分布の系統的研究 早川 彰 (東京都立大学)	14:30	T17a ALMA による SZ 効果観測のイメージングシミュレーション 山田健吉 (東邦大学)
11:12	T07a 銀河団プラズマ中の重元素の空間分布 川原田 円 (東京大学)	14:42	T18a 展開計算による運動学的スニャエフ・ゼルドビッチ効果の解析式の導出 須田康彦 (上智大学)
11:24	T08a 銀河団ガスに含まれる鉄質量と銀河光度の比の研究 池田真行 (東京理科大学)	14:54	T19a 厳密数値積分法による運動学的スニャエフ・ゼルドビッチ効果の計算 大畑洋一 (上智大学)
11:36	T09a 銀河団ガスのコア構造：ガス分布の熱的進化とダークマター分布の影響 赤堀卓也 (東京都立大学)	15:06	T20a 熱伝導と放射冷却を含めた銀河団プラズマの磁気流体数値実験 浅井直樹 (千葉大学)
11:48	T10a すばる望遠鏡による衝突銀河団の質量分布測定 II 岡部信広 (大阪大学)	15:18	T21b 銀河団コアの乱流の簡単な推定法 藤田 裕 (大阪大学)
12:00	T11a 最高エネルギー宇宙線としての銀河団降着衝撃波で加速される重原子核 井上 進 (国立天文台)	15:18	T22b 衝突銀河団の N 体 + 流体シミュレーション 滝沢元和 (山形大学)
12:12	T12a 銀河団における矮小銀河問題 加瀬啓之 (東京大学)		

U. 宇宙論

3月28日(火) 午後・D会場		3月29日(水) 午前・D会場	
13:00	U01a ボーズ・アインシュタイン凝縮に基づく宇宙モデル 森川雅博 (お茶の水女子大学)	14:00	U11a 初期宇宙密度揺らぎの痕跡としての宇宙初期磁場について 市来浄與 (国立天文台)
	U02c A Note on Topos Semantics of Quantum Logic 中山薫二 (龍谷大学)	14:12	U12a 大規模構造形成の起源となる宇宙論的密度場進化に対する初期磁場の影響 山崎 大 (東京大学)
13:12	U03a ダークエネルギーの時間発展と宇宙の曲率に対する最近の観測からの制限 市川和秀 (東京大学)	14:24	U13a 宇宙磁場の起源—第一世代星の残骸で生成される種磁場— 花山秀和 (東京大学)
	U04c ASTRO-F で探るダークエネルギー 西澤 淳 (名古屋大学)	14:36	U14a ワイベル不安定による銀河、銀河団磁場の形成 藤田 裕 (大阪大学)
	U05c 深宇宙銀河サーベイの相関関数から得られるバリオン音響振動の非等方性 奥村哲平 (名古屋大学)	14:48	U15a 超新星背景ニュートリノの宇宙モデル依存性 小野博之 (東京理科大学)
13:24	U06a Local Voids as Origin of Large-angle CMB Anomaly 井上開輝 (近畿大学)		
13:36	U07b Cosmological evolution in the radius stabilized two-brane model 梅津健一 (総合研究大学院大学)	09:00	U16a 宇宙膨張論の検証 (そのVI 0.4 z のクエーサーで赤方偏移率と等級は相関が無い 其2) 阿武靖彦 (一)
13:36	U08b スケール因子に依存する宇宙項がCMB 温度揺らぎに与える影響 中村理央 (九州大学)	09:12	U17a 中間質量ブラックホール周りでの暗黒物質対消滅: 銀河外ガンマ線背景放射への寄与 堀内俊作 (東京大学)
13:36	U09b Moving Cluster の効果によるCMB Secondary anistropy 疋田進一 (国立天文台 / 大阪大学)	09:24	U18a 楕円軌道をなすブラックホール連星系からの宇宙論的重力波背景放射のスペクトラム 榎 基宏 (国立天文台)
13:48	U10a Primordial Non-Gaussianity and Analytic Formula for Minkowski Functionals of the Cosmic Microwave Background and Large-scale Structure 日影千秋 (名古屋大学)	09:36	U19a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (4) 高橋龍一 (国立天文台)
		09:48	U20a 暗黒星雲遮蔽による可視銀河系外背景光の測定 松岡良樹 (東京大学)

10:00	U21b Uバンドにおける Extra-galactic Background Light の測定 内海洋輔 (筑波大学)	11:36	U31b 那須パルサー観測所トランジェント電波源 WJ0640+3200 の観測 貴田寿美子 (早稲田大学)
10:00	U22b SDSS 銀河特異速度の絶対光度依存性 — 無モデル測定 加用一者 (名古屋大学)		
10:00	U23b カウント・イン・セル解析におけるウィンドウ関数の最適化 村田孔孝 (名古屋大学)		
10:12	U24a 宇宙論スケールでの Newton 重力の破れに対する SDSS からの観測的制限 III: 摂動論を用いた 3 点統計量の推定 白田晶人 (東京大学/東京工業大学)		
10:24	U25a ダークハローのバイアスの非線形性とバイスペクトル 西道啓博 (東京大学)		
10:36	U26a 銀河分布を表す統計力学 — SDSS DR4 と宇宙論的 N 体シミュレーションについて 中道晶香 (県立ぐんま天文台)		
10:48	U27a Simulation data を用いた Loh & Spillar test の有効性の検討について 田坂 守 (東京大学)		
11:00	U28a The Selection Algorithm for the SDSS DR3 Lensed Quasar Survey 稲田直久 (東京大学)		
11:12	U29a 超高エネルギー宇宙線の到来方向分布と起源天体分布の相関 高見 一 (東京大学)		
11:24	U30a 長寿命粒子の放射性崩壊に伴う ${}^6\text{Li}$ の合成 日下部元彦 (東京大学)		

V. 地上観測機器

3月27日(月) 午前・H会場	
10:00	<p>V01a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト 高見英樹(国立天文台)</p> <p>V02c すばるレーザーガイド星 AO における動作パラメーター自動最適化システムの開発と実装の状況 服部雅之(国立天文台)</p> <p>V03c すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: 188 素子バイモルフ型可変形鏡 大屋 真(国立天文台)</p>
10:12	<p>V04a Subaru HiCIAO High Contrast Imager: Performance Review ABE, Lyu(国立天文台)</p> <p>V05c すばる望遠鏡用新高コントラスト装置 HiCIAO の開発 田村元秀(国立天文台)</p>
10:24	<p>V06a SUBARU IRCS のナスミス焦点対応アップグレード 寺田 宏(国立天文台)</p>
10:36	<p>V07a ファイバー多天体分光器 FMOS の開発 舞原俊憲(京都大学)</p> <p>V08c すばる望遠鏡の次世代広視野カメラの検討(II) 宮崎 聡(国立天文台)</p>
10:48	<p>V09a 次世代超大型光赤外望遠鏡プロジェクト: ゼロ膨張セラミック鏡の開発 家 正則(国立天文台)</p>
11:00	<p>V10a 超軽量望遠鏡の屋外試験結果 栗田光樹夫(名古屋大学)</p>
11:12	<p>V11a 近赤外線撮像・分光装置 ISLE の試験観測 柳澤顕史(国立天文台)</p>
11:24	<p>V12a 西はりま天文台 可視分光器の性能評価 尾崎忍夫(西はりま天文台)</p>
11:36	<p>V13a SIRPOL の開発 I: 偏光器 日下部展彦(総合研究大学院大学)</p>
11:48	<p>V14a 広島大学 1.5m 望遠鏡計画 V: 東広島天文台建設と計画の進捗 川端弘治(広島大学)</p>
12:00	<p>V15b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: 589nm 高出力周波レーザーの開発(4) 齊藤嘉彦(国立天文台)</p>
12:00	<p>V16b MOIRCS: 多天体分光モードの概略と機能試験観測報告 小西真広(東北大学)</p>
12:00	<p>V17b 岡山 188cm 鏡における低分散偏光分光測光装置の器械特性 磯貝瑞希(東京大学)</p>
12:12	<p>V18b ぐんま天文台 150cm 望遠鏡低分散分光・撮像装置 衣笠健三(県立ぐんま天文台)</p>
12:12	<p>V19b 可視 15 色同時撮像カメラ (DMC) の開発 I 酒向重行(東京大学)</p>
12:12	<p>V20b 可視 15 色同時撮像カメラ (DMC) の開発 II 光学系 諸隈智貴(東京大学)</p>
12:24	<p>V21b 分光器 DSS-7 の性能評価について 田辺健茲(岡山理科大学)</p>
12:24	<p>V22b 飛騨天文台における補償光学実験 三浦則明(北見工業大学)</p>
12:24	<p>V23b 太陽フレア望遠鏡における光球・彩層磁場同時観測システム 花岡庸一郎(国立天文台)</p>
	<p>V24c 完全空乏型 CCD の開発(6) 鎌田有紀子(国立天文台)</p>

3月27日(月) 午後・H会場		3月28日(火) 午前・H会場	
14:30	V25a TAMA300の現状(17) 辰巳大輔(国立天文台)	09:00	V36a 次期光赤外干渉計観測装置の開発I 大石奈緒子(国立天文台)
14:42	V26a Characterization of triggered burst signals for TAMA data 端山和夫 (Center for Gravitational Wave Astronomy, University of Texas at Brownsville)	09:12	V37b 30m 基線光干渉計 MIRA-I.2: 恒星視直径観測性能 吉澤正則(国立天文台)
14:54	V27a Ashra 報告: 全体計画および進捗 小川了(東邦大学)	09:12	V38b アクロマティック干渉計のための対称ビームコンパイナの開発 村上尚史(国立天文台)
15:06	V28a Ashra 実験における光学系の開発と性能評価 野田浩司(東京大学)	09:12	V39b ミリ波サブミリ波 Multi-Fourier Interferometer 開発の進捗 服部誠(東北大学)
15:18	V29a Ashra 実験における反射鏡の開発と評価 江口誠(東京大学)	09:24	V40a MOA-II 1.8m 望遠鏡での観測による2005年の成果 神谷浩紀(名古屋大学)
15:30	V30a Ashra 実験における光電撮像系開発について 長南勉(東京工業大学)		V41c MOA2 1.8m 望遠鏡の解析手法とその解析結果 岡田千丈(名古屋大学)
15:42	V31a Mauna Loa 観測地における Ashra 実験現状報告 浅岡陽一(東京大学)		V42c MOA-II 望遠鏡および MOA-II 専用カメラ MOA-cam3 の性能評価 佐々木允洋(名古屋大学)
15:54	V32a JVO の研究開発(全体進捗) 大石雅寿(国立天文台)	09:36	V43a ガンマ線バースト可視光閃光観測システム WIDGET の増強とその性能 恩田香織(埼玉大学)
16:06	V33a JVO の研究開発(ワークフロー機能の実装) 川野元聡(国立天文台)	09:48	V44a 明野ガンマ線バースト観測用 50cm 望遠鏡の開発 下川辺隆史(東京工業大学)
	V34c JVO の研究開発(JVO ポータルのデモンストレーション) 田中昌宏(国立天文台)	10:00	V45b ガンマ線バースト光学閃光のビデオによる高時間分解能観測(TOTO-C) 大西浩次(長野高専)
16:18	V35b 観測データ品質評価システム "NAQATA" の開発 吉野彰(国立天文台)	10:00	V46b 突発天体の自動モニタシステムの開発 野上大作(京都大学)
		10:00	V47b 「三つ目」望遠鏡の3色同時撮像カメラの更新 長山省吾(国立天文台)

10:12	V48a パルサー観測におけるコヒーレント信号処理 大師堂経明 (早稲田大学)	14:00	V60b 光結合仮想観測局の構築 小山友明 (国立天文台)
	V49c 那須観測所 30m 球面鏡の天体追尾システムの開発 遊馬邦之 (久喜高校 / 早大)	14:00	V61b 野辺山における 190GHz 輝度温度ゆらぎと電波位相ゆらぎとの比較研究 若月茂央 (茨城大学)
10:24	V50b 早大那須観測所・トランジェント電波天体候補の検出 松村寛夫 (早稲田大学)	14:00	V62b 60cm ミリ波サーベイ望遠鏡の進捗と現状 中島 拓 (大阪府立大学)
10:24	V51b Mapping Software の開発とその観測結果 岳藤一宏 (早稲田大学)	14:12	V63b 2m 電波望遠鏡の開発 海田正大 (東京学芸大学)
10:24	V52b 800MHz ナイキストレート複素サンプラーとストレージ 中尾伸一 (早稲田大学)	14:12	V64b 2m 電波望遠鏡の主鏡変形：解析結果と実測値との比較 東狐義秀 (大阪府立大学)
10:36	V53b 次世代型超高速プロセッサ Cell によるパルサーの周期解析とその性能評価 中森健之 (京都大学)	14:12	V65b 超伝導ミクサ用冷却 HEMT 増幅器の開発 小嶋崇文 (大阪府立大学)
3月28日(火) 午後・H会場			
13:00	V54a ペルーの 32m 電波望遠鏡計画 Ishitsuka I., Jose K. (国立天文台)	14:24	V66a 超伝導 HEB ミクサ素子に用いる Nb 薄膜のキャラクタリゼーション 新保 謙 (東京大学)
13:12	V55a VERA 観測システムの位置計測精度 小林秀行 (国立天文台)	14:36	V67b 野辺山太陽電波観測所における電波環境 北條雅典 (国立天文台)
13:24	V56a VERA による QSO ペアの位相補償観測 中川重紀治 (鹿児島大学)	14:36	V68b 野辺山における最近の電波環境、1GHz 帯での混信対策 篠原徳之 (国立天文台)
13:36	V57a 2 周波 VLBI による大気位相揺らぎの空間構造の観測 西尾正則 (鹿児島大学)	14:36	V69b 野辺山電波ヘリオグラフ障害データベース 関口英昭 (国立天文台)
	V58c 大学 VLBI 連携観測の進捗報告 藤沢健太 (山口大学)	14:48	V70b 9 素子サブミリ波カメラ (SISCAM-9) の開発 岡庭高志 (東邦大学)
13:48	V59a 光結合 VLBI 観測網の進展 川口則幸 (国立天文台)		

3月29日(水) 午前・H会場			
09:00	V71a ALMA の建設 (4) 長谷川哲夫 (国立天文台)	11:00	V83a ALMA Band 4 受信機開発の進捗状況 (V) 浅山信一郎 (国立天文台)
09:12	V72a ACA の科学運用プランの概要 川辺良平 (国立天文台)	11:12	V84a ALMA Band8 (385-500GHz) Balanced Mixer の評価 芹澤靖隆 (東京大学)
09:24	V73a ALMA のデータ較正法について Vila Vilaro, Baltasar (国立天文台)	11:24	V85b ALMA BAND8 カートリッジ Preproduction Model の詳細設計 佐藤直久 (国立天文台)
09:36	V74a Atacama Compact Array のアンテナ配列 森田耕一郎 (国立天文台)	11:24	V86b サブミリ波ビームパターン測定装置によるプローブとホーンの精密測定 伊藤哲也 (国立天文台)
09:48	V75a アタカマコンパクトアレイ ACA のイメージングシュミレーション 高桑繁久 (国立天文台)	11:24	V87b 窒化アルミニウムバリアを用いたサブミリ波ミキサ用高臨界電流密度 SIS 素子の開発 遠藤 光 (東京大学)
10:00	V76a ALMA 12-m Array と ACA を相関させた Combined Array の科学的的重要性 伊玉野大介 (国立天文台)	11:36	V88a ALMA バンド 10 受信機開発の進捗状況 鵜澤佳徳 (国立天文台)
10:12	V77a ミリ波・サブミリ波干渉計局内遅延較正信号の放射法についての検討 山田真澄 (国立天文台)	11:48	V89b ALMA Band 10 受信機光学系設計 (導波管型受信機対応) 小川英夫 (大阪府立大学)
10:24	V78a 全天スキャン型高精度小口径電波望遠鏡によるサブミリ波絶対強度較正法の基礎開発 (I) : ラジオメータの基本仕様およびシステム 田村陽一 (東京大学)	11:48	V90b ALMA Band 10 受信機構造体の設計 鈴木和司 (名古屋大学)
10:36	V79b Vortex shedding from a 12-m antenna 浮田信治 (国立天文台)		
10:36	V80b プロトタイプ 12-m アンテナ主鏡構造物の熱変形 池之上文吾 (国立天文台)		
10:36	V81b ALMA ACA 7 m電波望遠鏡用 wedged window の設計 原 和義 (大阪府立大学)		
10:48	V82a 高消光比 LN 変調器の ALMA 光ローカル信号発生への応用 木内 等 (国立天文台)		

W. 飛翔体観測機器

3月27日(月) 午後・F会場			
14:30	W01a VSOP-2 計画の現状 平林 久 (宇宙航空研究開発機構)		W14c HOP 超広視野カメラにおけるプリズム補正光学系の実証実験 山田 亨 (国立天文台)
14:42	W02a VSOP-2 搭載観測信号システム 河野裕介 (国立天文台)	15:42	W15a 気球搭載硬 X 線偏光検出器 PoGO の開発 (I) 有元 誠 (東京工業大学)
14:54	W03b VSOP-2 計画の衛星開発の現状 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)	15:54	W16a 気球搭載硬 X 線偏光検出器 PoGO の開発 (II) 金井義和 (東京工業大学)
14:54	W04b VSOP2 衛星主鏡面用メッシュの反射特性モデル 氏原秀樹 (国立天文台)	16:06	W17a 気球搭載硬 X 線撮像観測実験 NUSMIT の現状 小賀坂康志 (名古屋大学)
	W05c 衛星搭載冷却受信系を目的とした InP HEMT MMIC の開発 春日 隆 (法政大学)	16:18	W18a 硬 X 線天体撮像観測実験 NUSMIT 搭載 硬 X 線望遠鏡の特性評価 宮澤拓也 (名古屋大学)
14:54	W06b 近傍界スキャナによるフィルムレンズの測定 氏原秀樹 (国立天文台)	16:30	W19a 硬 X 線天体撮像観測実験 NUSMIT 搭載 位置検出型シンチレーション検出器の開発 田村啓輔 (名古屋大学)
15:06	W07a JASMINE (赤外線位置天文観測衛星) 計画について 郷田直輝 (国立天文台)	16:42	W20a 硬 X 線結像観測気球実験 NUSMIT : 焦点面検出器 SD-CCD 開発の現状 宮田恵美 (大阪大学)
15:18	W08b JASMINE-light (75cm 級) 一小型化一 の検討 矢野太平 (国立天文台)		3月28日(火) 午前・F会場
15:18	W09b JASMINE 計画のためのレーザー干渉計型高精度角度変動モニターの研究開発 2 丹羽佳人 (京都大学 / 国立天文台)	09:00	W21a SPICA コロナグラフの開発 : 概要および検証実験の初期成果 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)
15:18	W10b Nano-JASMINE (超小型 JASMINE) 衛星開発現状 菅沼正洋 (国立天文台)	09:12	W22a バイナリ瞳コロナグラフの波面誤差依存性 田中深一郎 (東京大学)
15:30	W11b JASMINE Simulator の開発 VII 山田良透 (京都大学)	09:24	W23b 系外惑星の直接検出手法を組合せたナル干渉コロナグラフ 西川 淳 (国立天文台)
15:30	W12b 宇宙空間での使用を目的としたサンプルフィルターの耐性試験 林 将央 (東京大学)		W24c 気球搭載遠赤外線干渉計 (FITE) 用アラインメント機構の開発 宮本智明 (名古屋大学)
15:30	W13b HOP/VWFI用冷凍機の低擾乱化対策 岩田 生 (国立天文台)		

09:24	W25b SOLAR-B 可視光望遠鏡 狭帯域フィルターの分光性能及びドップラーグラムの精度評価 勝川行雄 (国立天文台)	10:24	W37b 全天 X 線監視装置 MAXI/GSC の地上較正試験 宮本将雄 (東京理科大学 / 理化学研究所)
09:24	W26b Solar-B 可視光望遠鏡: フィルターグラム (FG) / スペクトロポラリメータ (SP) チャンネル間アライメント解析 岡本丈典 (京都大学)	10:24	W38b 2 結晶分光器を用いた全天 X 線監視装置 MAXI/GSC の封入ガス、Xe-L 殻吸収端の不連続性の追究 宮川雄大 (青山学院大学)
	W27c Solar-B 可視光望遠鏡の光学性能評価 末松芳法 (国立天文台)	10:24	W39b 大気散乱を用いたガンマ線バーストの偏光測定の可能性の評価 II 斎藤芳隆 (宇宙航空研究開発機構)
	W28c Solar-B 可視光望遠鏡のフライト光量予測 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)	10:36	W40b X 線検出器としての磁気量子熱量計の開発 土屋彰広 (宇宙航空研究開発機構)
	W29c Solar-B 可視光望遠鏡の偏光較正 一本 潔 (国立天文台)	10:36	W41b 地上 X 線 / γ 線分光実験にむけた断熱消磁冷凍機システムの開発 星野晶夫 (東京都立大学)
	W30c Solar-B 可視光望遠鏡フィルターマグネトグラムの観測性能評価 久保雅仁 (宇宙航空研究開発機構)	10:36	W42b X線マイクロカロリメーター読み出しの多重化に伴うデジタル復調技術の開発 萩原利土成 (宇宙航空研究開発機構)
09:36	W31a レーザー光による X 線反射鏡製作用ガラス母型の形状評価 中村良子 (宇宙航空研究開発機構)	10:48	W43b DIOS 衛星搭載用 4 回反射型 X 線望遠鏡 FXT の開発 -V 田原 讓 (名古屋大学)
09:48	W32a 高角度分解能化を目指した多重薄板型 X 線望遠鏡の設計とその性能評価 大熊 哲 (東京都立大学)	10:48	W44b X-mas 計画のための実験用望遠鏡の撮像実験 大久保洋輔 (立教大学)
10:00	W33a 国際宇宙ステーション搭載 全天 X 線監視装置用 CCD カメラの開発の現状 富田 洋 (宇宙航空研究開発機構)	10:48	W45b X 線偏光面回転ビームシステムの偏光度測定 三角和由 (中央大学)
10:12	W34b 全天 X 線監視装置 MAXI 地上データ処理システムの開発 I - 地上データ処理システムの開発状況 - 佐藤俊宏 (日本大学)		W46c CCD を用いた透過型多層膜偏光計の開発 北本俊二 (立教大学)
10:12	W35b 全天 X 線監視装置 MAXI 地上データ処理システムの開発 II - 世界初の X 線光子データベースの実現に向けた高速データ処理技術 - 小笠原直進 (日本大学)	11:00	W47b 硬 X 線検出器用両面 Si strip 検出器の開発 安田 創 (広島大学)
10:12	W36b 全天 X 線監視装置 MAXI 地上データ処理システムの開発 III - 突発天体発見システムの開発 - 中村一尋 (日本大学)	11:00	W48b 硬 X 線偏光観測気球実験 PHENEX/GAPOM 計画の準備状況 三原建弘 (理化学研究所)

11:00	W49b 硬 X 線偏光観測気球実験 PHENEX のデータ収集システム 森本真史 (大阪大学)	14:00	W60b すざく衛星搭載 X 線 CCD(XIS) の電荷注入機能によるゲイン及びエネルギー分解能の補正 中嶋 大 (京都大学)
11:12	W50a 「すざく」搭載 X 線望遠鏡の軌道上データを用いた応答関数の構築 榎原匡俊 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)	14:12	W61b すざく衛星搭載 XIS のバックグラウンド特性 山口弘悦 (京都大学)
3月28日(火) 午後・F会場			
13:00	W51a 「すざく」衛星搭載の硬 X 線検出器 HXD 主検出部の現状 中澤知洋 (宇宙航空研究開発機構)	14:12	W62b すざく衛星搭載 XIS のスカイバックグラウンド 田和憲明 (大阪大学)
13:12	W52a すざく衛星搭載 PIN 型シリコン検出器の軌道上較正及び性能評価 岸下徹一 (宇宙航空研究開発機構)	14:24	W63a 「すざく」搭載 XIS の機上データ処理の検証 村澤 哲 (宇宙航空研究開発機構)
13:24	W53a すざく衛星搭載硬 X 線検出器 HXD のゲイン変動 遠藤康彦 (埼玉大学)	14:36	W64a 「すざく」衛星搭載 X 線 CCD カメラ (XIS) におけるタイミングモードの機上性能 市川喜徳 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)
13:36	W54a 「すざく」衛星搭載 硬 X 線検出器 広帯域全天モニタ部 (HXD-II/WAM) の現状 (I) 田代 信 (埼玉大学)	14:48	W65a 「すざく」搭載 XIS のバックグラウンド シミュレーションによる起源の解明一 穴田貴康 (宇宙航空研究開発機構)
13:48	W55b 「すざく」硬 X 線検出器 (HXD) のバックグラウンド差引の現状 深沢泰司 (広島大学)		W66c 「すざく」に搭載した CCD カメラ (XIS) の可視光遮断フィルターの性能 北本俊二 (立教大学)
13:48	W56b 「すざく」広帯域全天モニタ (WAM) のバックグラウンド解析 高橋拓也 (広島大学)		W67c すざく衛星 XIS 検出器による超新星残骸 1E0102.2-7219 の観測 辻本匡弘 (立教大学)
13:48	W57b X 線天文衛星「すざく」簡易解析支援環境の試作 宇野伸一郎 (日本福祉大学)	3月29日(水) 午前・F会場	
14:00	W58b すざく衛星搭載 XIS の軌道上での較正：検出効率 林田 清 (大阪大学)	09:00	W68a 将来衛星に向けた MEMS X 線光学系の開発 (1) 江副祐一郎 (宇宙航空研究開発機構)
14:00	W59b すざく衛星搭載 XIS の軌道上での較正：エネルギースケール 宮内智文 (大阪大学)	09:12	W69a 将来衛星に向けた MEMS X 線光学系の開発 (2) 輿石真樹 (宇宙航空研究開発機構)
		09:24	W70a Caltech アナログ LSI を用いた大面積 CdTe 半導体ピクセル検出器の開発と性能評価 牛尾雅佳 (宇宙航空研究開発機構)

X. 銀河形成

		3月27日(月) 午前・B会場	
09:36	W71a 軟ガンマ線の観測に向けた CdTe ピクセル検出器の性能評価 勝田隼一郎(宇宙航空研究開発機構)	10:00	X01a 赤外線背景放射のロケット観測計画 CIBER 津村耕司(東京大学)
09:48	W72a 硬 X 線、ガンマ線観測用 Si/CdTe 半導体コンプトン望遠鏡の開発 III 武田伸一郎(宇宙航空研究開発機構)	10:12	X02a γ 線バースト 050904 の残光の分光観測—最遠 ($z=6.3$) の γ 線バースト— 青木賢太郎(国立天文台)
10:00	W73a TES 型 γ 線マイクロカロリメータの開発と性能評価 倉林 元(首都大学東京)	10:24	X03a $z=6.3$ のガンマ線バースト 050904 から得られた宇宙再電離への制限 戸谷友則(京都大学)
10:12	W74a TES 型 X 線マイクロカロリメータの熱数学モデルの構築と設計の最適化 吉野友崇(宇宙航空研究開発機構)	10:36	X04a PopIII 起源ブラックホールによる早期宇宙再電離 広瀬意育(筑波大学)
10:24	W75a X 線マイクロカロリメータの製作プロセスの構築 藤森玉行(東京都立大学)	10:48	X05a 銀河からの電離光子脱出率の進化? 井上昭雄(大阪産業大学)
10:36	W76a X 線マイクロカロリメータの多重読み出し 木村俊介(宇宙航空研究開発機構)	11:00	X06a NaI D 吸収線で探る、高赤方偏移 Damped Lyman- α System におけるダスト吸着 近藤荘平(東京大学)
10:48	W77a 「世界最大級」大面積アバランシェフォトダイオードの開発 佐藤理江(東京工業大学)	11:12	X07a Subaru Extensive Narrow-band Survey for Ly α Emitters at $z=3.1$ I. 観測とデータ 山田 亨(国立天文台)
11:00	W78a イオンビームスパッタ装置を用いた多層膜 X 線反射鏡の高性能化 伊藤由美(東京工業大学/宇宙航空研究開発機構)	11:24	X08a Subaru Extensive Narrow-band Survey for Ly α Emitters at $z=3.1$ II. Large-scale distribution and Clustering properties 山内良亮(東北大学)
11:12	W79a 完全ピクセル読みだし型 μ -PIC を用いた X 線偏光検出器の開発 (3) 鶴 剛(京都大学)	11:36	X09a Subaru Extensive Narrow-band Survey for Ly α Emitters at $z=3.1$ III. 光度関数・等価幅・天体形状と環境効果 中村有希(東北大学)
11:24	W80a 広がった放射源天体の観測的研究のための新しい画像復元法の試み 杉崎 睦(スタンフォード大学)	11:48	X10a $z=3.1$ Ly α blobs のサブミリ波観測 松田有一(京都大学)
		12:00	X11a SSA22 領域における LAEs 形成モデルの応用 清水一紘(筑波大学)

12:12	X12a SDF の赤い銀河 : Passive or Dusty Starburst at $z > 1$ in SDF 本原顕太郎 (東京大学)	15:30	X22a Distant irregular galaxies to local elliptical galaxies 森 正夫 (UCLA/ 専修大学)
12:24	X13b CFHT/MegaCam u^* -band を用いた SSA22 $z \sim 3$ Lyman Break Galaxies (LBGs) 候補の検出 山内良亮 (東北大学)	15:42	X23a 銀河団内球状星団の形成 矢作日出樹 (東京大学)
12:24	X14b $z=3-6$ における Spitzer/IRAC バンドで明るい遠方銀河の分光同定 大内正己 (Space Telescope Science Institute)	15:54	X24a FPGA を用いた再構成可能な計算機による天体物理シミュレーション I 中里直人 (理化学研究所)
12:24	X15b Subaru Deep Field における Lyman-break 銀河から探る宇宙の星形成史 吉田真希子 (東京大学)	16:06	X25a FPGA を用いた再構成可能な計算機による天体物理シミュレーション II 濱田 剛 (理化学研究所)
3月27日 (月) 午後・B会場		16:18	X26a 宇宙シミュレータ FIRST : 大規模クラスタの構築 梅村雅之 (筑波大学)
14:30	X16a The ISO 170 μm Luminosity Function of Galaxies 竹内 努 (東北大学)	16:30	X27a FIRST による宇宙輻射流体力学一族 星形成への光解離の影響一 須佐 元 (立教大学)
	X17c The Evolution of the Ultraviolet and Infrared Luminosity Densities in the Universe at $0 < z < 1$ 竹内 努 (東北大学)	16:42	X28a FIRST による P ³ M 流体力学 : 第一世代銀河形成過程 諏訪多聞 (筑波大学)
14:42	X18a 遠赤外・電波相関の起源 平下博之 (筑波大学)	16:54	X29b 天の川創成プロジェクト零号機の開発 III コード開発 齋藤貴之 (国立天文台)
14:54	X19a すばる望遠鏡で見る中赤方偏移の Tully-Fisher 関係と銀河環境 中村 理 (早稲田大学)	16:54	X30b 銀河中心ブラックホールと母銀河の共進化のシミュレーション 岡本 崇 (国立天文台)
15:06	X20a Magellanic Bridge における分子雲の検出 水野範和 (名古屋大学)	16:54	X31b 輻射抵抗によるブラックホール成長の 3次元シミュレーション II. 銀河中心領域のガス雲の空間分布 渡部靖之 (筑波大学)
15:18	X21a Tully-Fisher 関係に及ぼす、超新星フィードバックに伴う力学応答の効果 小山博子 (早稲田大学)		

Y. 天文教育・その他

3月27日(月) 午前・D会場	
10:00	<p>Y01b 科学や技術に特化したジャーナリズムを担う人材について 中村 理 (早稲田大学)</p> <p>Y02b X線天文学データ解析初心者用マニュアルと解析環境の制作 森上恭与士 (日本福祉大学)</p> <p>Y03b 多地点における気象データを対象としたデータアーカイブシステムの開発 飯島輝久 (和歌山県立海南高等学校)</p> <p>Y04a なゆた望遠鏡 高感度ハイビジョンカメラによる天体カタログ 太井義真 (西はりま天文台)</p> <p>Y05c 大規模カタログデータの簡易検索・大量出力サービス 中嶋浩一 (一橋大学)</p> <p>Y06c 宇宙大規模構造の3次元可視化 相澤雄太 (千葉大学)</p> <p>Y07a プラネタリウムにおける日食のインターネット中継とその効果 荻原文恵 (和歌山大学)</p> <p>Y08c 和歌山大学教育学部天文台の CCD 測光性能と測光観測 柴原由果 (和歌山大学)</p> <p>Y09c 工業高専における太陽観測の事例：BS アンテナによる 12 GHz 電波と小口径光学望遠鏡による Hα 全面像の同時観測 當村一朗 (大阪府立工業高等専門学校)</p> <p>Y10a 「こどものためのジオ・カーニバル」 西山晋史 (大阪教育大学)</p> <p>Y11b 「重力レンズで見たあなた」：第6回「こどものためのジオ・カーニバル」活動報告 渡会兼也 (大阪教育大学)</p>
10:48	<p>Y12b 関西から発信する学生の宇宙教育 川上恭子 (神戸大学)</p> <p>Y13b 分野の枠を超えた若手研究者が発信する新しい理科教育の試み 成田憲保 (東京大学)</p> <p>Y14c 立体視を用いた星座を構成する星たちの空間的広がりを伝える為の教材の開発 小澤友彦 (みさと天文台)</p> <p>Y15c Astro-HS の成果と現状、そして今後の活動 篠原秀雄 (埼玉県立蕨高校)</p> <p>Y16c アストロノミー・パブの実施とその評価 - 科学を文化として楽しめる国を目指して - 縣 秀彦 (国立天文台)</p>

第8回ジュニアセッション

主催：日本天文学会
共催：天文教育普及研究会、高校生天体観測ネットワーク
後援：日本惑星協会

- ◆口頭セッション : 3月27日(月) 10:00～12:32、14:10～15:30 A会場
- ◆ポスターセッション : 3月27日(月) 15:30～17:00 (ポスターの掲示は3月29日13時まで) ポスター会場5
- ◆特別講演 : 3月27日(月) 13:30～14:10

セッション1：観測機器・流星・彗星 (10:00～10:40 / 講演各6分+質疑10分)

- 01：ハーシェルのも金属鏡望遠鏡の再現～完結編～
石田葵、小森有祐美、西谷真由里、平林志野(高2)【茨城県立水戸第二高等学校】
- 02：ビデオと電波の同一流星を見つける
福崎龍太郎、松井政樹、今裕太、福原健、前川亜希子(高2)【青森県立青森南高等学校自然科学部】
- 03：ふたご座流星群の観測－HROと高感度ビデオ、眼視による観測結果の検討－
倉又千咲、鈴木万里奈、堂前亜子(中3)、成瀬絢子(中2)、渋谷萌音(中1)【遺愛女子中学校地学部】
- 04：流星電波観測の報告
桑原永介、武田誠也、池田亨、古川瑛(高3)【那須高原海城高等学校】
- 05：マックホルツ彗星の尾の変化と太陽風の関連性
増井香織、山田真広(高専3)、林優、丸林紗代、高平晴佳(高専1)【長野工業高等専門学校】

セッション2：太陽 (10:40～11:20 / 講演各6分+質疑10分)

- 06：流星電波観測のノイズの中から拾った太陽のフレア
高崎良一(高専2)、田口のり子、武田理恵、高力由香子(高専3)【茨城工業高等専門学校ラジオ部】
- 07：世界で一番小さい電波望遠鏡で太陽を観る
平田大樹、小松俊也、田中拓真(高1)、新井悠也、大澤大、亀崎悠、田中孝市、林剛久(中3)【巣鴨中学高校】
- 08：デジタルカメラで撮影したプロミネンスについて
柳下未来、丸山華奈、梅田水紀、佐々木彩来、林真依子、天谷春菜、佐藤裕理、肥田麻耶、渡辺亜衣、鈴木歩、瀬戸千春、堀田絵梨、古澤優子(高1)【武蔵野女子学院高等学校】
- 09：プロミネンスの視線速度の時間変化
青山勇氣、森坂輩之(高2)【京都府立洛東高等学校】
- 10：浮上磁場領域の速度場
幾山靖代、若林愛(高2)、鳥井和将、荻田裕樹(高1)【京都府立洛東高等学校】

セッション3：月・惑星 (11:20～11:52 / 講演各6分+質疑8分)

- 11：月の視直径に関する考察
平出貴裕、雄城将斗、和田昌祥、喜々津佑多、東英介(高3)【慶應義塾高等学校】
- 12：ライト効果は本当か？
大島由也、角田俊一、松本卓、青木良枝(高専3)、中江祥平(高専2)、小松紀由、和田泰治、近藤直弥、山本耕平(高専1)【米子工業高等専門学校】
- 13：火星大気を地球の組成に近づけるための研究
伊藤里紗(高2)【東海大学付属翔洋高等学校】、辰野誠哉(高1)【洛南高等学校】、大八木瞳(高1)【埼玉県立浦和第一女子高等学校】、北村真也(高1)【埼玉県立所沢高等学校】、石原裕一郎(高1)【香川県立津田高等学校】
- 14：月面基地からの冥王星探査プロジェクト
今井雅文(高3)【高知工業高等専門学校】、山田祐士(高3)【日本大学高等学校】、長岡裕子(高2)【旭川工業高等専門学校】、山崎歩(高1)【石川工業高等専門学校】

セッション4：小惑星 (11:52～12:32 / 講演各6分+質疑10分)

- 15：小惑星の軌道半径・公転周期を求める
小西 励 (高3) 【慶應義塾高等学校】
- 16：小惑星シルビアのライトカーブ測定による形状等の研究
井上健太、藤田祥伍 (高2) 【福岡県立小倉高等学校 S S 天文研究会】
- 17：小惑星 sylvia の変光測光観測
谷航至 (高3) 【慶應義塾高等学校】
- 18：なゆた望遠鏡による地球近傍小惑星の測光観測
土田恵里佳、小川知美、福田祐子、浅野晴日、伊藤悠、道家紘美、川瀬純里 (高2)、上田瑛、
蓼沼聖昂、竹内優都、大橋将人、服部麻矢、安藤裕子、田口絵梨 (高1) 【滝学園天体観測部】
- 19：プロジェクト X(じゅー) ～第十惑星の謎に迫る！～
板垣裕之 (中等4年) 【新潟県立村上中等教育学校】、久保田明夏 (高3) 【私立大妻多摩高校】、
松村和典 (高3) 【中央大学付属高等学校】、安井さくら (高1) 【岐阜県立多治見北高等学校】

特別講演 (13:30～14:10)

- 小惑星探査機「はやぶさ」が成し遂げたこと
吉川 真 (宇宙航空研究開発機構)

セッション5：恒星・その他 (14:10～14:50 / 講演各6分+質疑10分)

- 20：html ファイルを使った、CD-ROM 上での星雲・星団写真集の作成
福田愛弓、小林康子、嶋津聡美 (高2) 【福岡県立小倉高等学校 S S 天文研究会】
- 21：高校生による系外惑星探査
宮入清悦、喜多聡博、藤野能久、徳永信久、内田嘉隆、小野塚正雄、宗像花楠子、高畑洋、
朱膳寺典子 (高2) 【成蹊高校天文気象部】
- 22：激変星 IP Peg の測光観測
後藤香寿美、寺田彩乃、柳瀬悠 (高1) 【京都府立洛東高等学校】
- 23：新メーザー天体を探せ！～VERA石垣島局での観測～
東潤百 (高2) 【八重山高等学校】、新城莉緒 (高3) 【八重山商工高等学校】、
大浜翼 (高3) 【八重山農林高等学校】、
片桐政人 (高3)、嘉味田翔子 (高2)、金城朱里 (高2)、瀧下玲奈 (高1)、玉城優衣 (高2)、
東迎訓史 (高3)、仲島みなみ (高2)、根間梨奈 (高2)、東金嶺奈央 (高2)、
東迎昂史郎 (高3) 【八重山高等学校】
- 24：大質量星生成領域 W49N、W51M からの水メーザーの電波モニターの観測
柴田帆波、岩崎文、佐藤千晶 (高2)、菅原悠 (高1) 【岩手県立水沢高等学校】

セッション6：星雲・星団・銀河 (14:50～15:30 / 講演各6分+質疑10分)

25：分光器を用いた M42 輝線強度分布観測

船戸龍、岡田淳司 (高3) 【兵庫県立大学附属高等学校】

26：公共天文台を利用した球状星団内の変光星

橋本慎也、秋田智哉、鈴木基臣、(高2)、横山一樹、大野裕司、廣田真子 (高1) 【愛知県立一宮高等学校】、
矢崎良明 (高2)、鷲見直哉、久世恵理子、戸崎瑛子、田尻真 (高1) 【岐阜県立岐山高等学校】

27：RR-Lyrae 型変光星を用いて球状星団までの距離と大きさを求める

青木すみれ (高2) 【神奈川県立神奈川総合高等学校】、石井佑紀 (高2) 【岐阜県立恵那高等学校】、
大沼悠一 (高2) 【茨城県立土浦第一高等学校】、佐々木悠輔 (高2) 【岐阜県立恵那高等学校】、
牟田梓 (高2) 【神奈川県立神奈川総合高等学校】

28：散開星団の老若

栗栖加奈 (高2) 【広島女学院高校】、濱田有紗 (高2) 【岡山県立岡山操山高校】、
広江直樹 (高2) 【大阪府立茨木高校】、根岸あや (高3) 【埼玉県立春日部女子高校】

29：銀河同士の衝突による変化を調べる

小島智美 (高3) 【私立橘学苑高等学校】、古長泰典 (高2) 【慶應義塾高等学校】、
長谷川総一郎 (高1) 【香川県立丸亀高等学校】、済藤祐理子 (高2) 【長野県立木曾高等学校】

ポスターセッション (15:30～17:00)

口頭発表された講演の多くと下記の「ポスターのみの講演」の発表があります。

ポスターのみの講演

30：流星ダストトレイルの微細構造

清水麻衣、螺良侑希 (高2) 【埼玉県立越谷北高等学校天文気象部】

31：12GHz帯電波観測による太陽活動の研究

油利俊輔、徳光大賀、末田竜也 (高2) 【山口県立宇部高等学校】

32：“Jupiter Project 2006” へのお誘い

生野貴昭、中陳巧勤、松野孝博 (高1) 【東京工業大学附属科学技術高等学校科学部】

33：トランジット法を用いた HD189733 の観測

大谷勇紀、伊藤桂 (高2) 【慶應義塾高等学校】

34：銀河系内のダストによる減光についての研究

森下樹里、済藤祐理子 (高2) 【長野県立木曾高等学校】

2006年2月20日発行

年会実行委員会

委員長	百瀬宗武	(茨城大学)
委員	河野孝太郎	(東京大学)
	清水敏文	(宇宙航空研究開発機構)
	鈴木知治	(東京大学)
	田村隆幸	(宇宙航空研究開発機構)
	中本泰史	(筑波大学)
	根來均	(日本大学)
	本原顕太郎	(東京大学)
	山村一誠	(宇宙航空研究開発機構)
	梅本智文	(国立天文台) 保育室担当

年会開催地理事

富田晃彦 (和歌山大学)

ポスターセッション 3月27日(月) ~ 3月29日(水)

《ポスター会場 1》	【活動銀河核】(11)
【高密度星】(22)	S01b S02b S03b S04b S05b
J04b J05b J06c J07b J08b	S06b S07b S08b S09b S10b
J09c J10b J11b J13c J15b	S11c
J24c J25b J26b J27b J28b	【銀河団】(6)
J29b J30b J34c J37c J42b	T13b T14b T15c T16c T21b
J43b J53c	T22b
【超新星爆発】(14)	【銀河形成】(7)
K05b K06b K07b K15b K16c	X13b X14b X15b X17c X29b
K19b K20b K21b K22b K23b	X30b X31b
K24b K25c K26c K27c	
【太陽】(4)	《ポスター会場 5》
M08b M09b M10c M11c	【ジュニアセッション】
	《ポスター会場 6》
《ポスター会場 2》	【宇宙論】(10)
【太陽系】(8)	U02c U04c U05c U07b U08b
L09b L10b L11b L12b L13b	U09b U21b U22b U23b U31b
L14b L15b L16c	【地上観測機器】(29)
【恒星】(16)	V02c V03c V05c V08c V15b
N09b N10b N11b N12b N13b	V16b V17b V18b V19b V20b
N14c N24b N25b N26b N27b	V21b V22b V23b V24c V34c
N28b N29b N30b N31b N32b	V35b V37b V38b V39b V41c
N33c	V42c V45b V46b V47b V49c
【天文教育・他】(13)	V50b V51b V52b V53b
Y01b Y02b Y03b Y05c Y06c	
Y08c Y09c Y11b Y12b Y13b	
Y14c Y15c Y16c	
	《ポスター会場 7》
《ポスター会場 3》	【地上観測機器】(19)
【星・惑星形成】(23)	V58c V60b V61b V62b V63b
P11b P12b P13b P14b P15b	V64b V65b V67b V68b V69b
P16b P26b P27b P28b P29b	V70b V79b V80b V81b V85b
P30b P31b P32b P33b P41b	V86b V87b V89b V90b
P42b P43b P44b P45b P46b	【飛翔体観測機器】(13)
P47b P48b P49b	W03b W04b W05c W06b W08b
【星間現象】(16)	W09b W10b W11b W12b W13b
Q08b Q09b Q10b Q11c Q13b	W14c W23b W24c
Q14b Q15c Q16c Q25b Q26b	
Q27b Q28c Q29b Q30b Q31c	
Q32c	
	《ポスター会場 8》
《ポスター会場 4》	【飛翔体観測機器】(32)
【銀河】(15)	W25b W26b W27c W28c W29c
R04b R05b R06b R10c R13b	W30c W34b W35b W36b W37b
R14b R15b R20c R21b R22b	W38b W39b W40b W41b W42b
R23b R32c R37b R38b R39c	W43b W44b W45b W46c W47b
	W48b W49b W55b W56b W57b
	W58b W59b W60b W61b W62b
	W66c W67c
	【PDL】
	【最新情報コーナー】